

クラブ活動計画書

平成 22 年 7 月

2010~2011年度



RI 第2780地区

大和中ロータリークラブ

会長 館 盛 道 明

幹事 鈴 木 洋 子

2010～2011年度

クラブ活動計画書

平成22年7月

2010～2011年度 国際ロータリーテーマ



『地域を育み、 大陸をつなぐ』

RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2780地区 後藤 定毅 ガバナー 方針

- 1) RIテーマ及びRI会長強調事項の推進
- 2) クラブ支援体制の強化
- 3) 職業奉仕の理念と職業倫理の高揚
- 4) 地区管理運営の規準整備及び透明化・制度化
- 5) 地区長期計画の検討及びクラブ長期計画立案の推奨
- 6) 会員増強・維持の目標（今後3年間各クラブ毎年5%純増）最終年度にRI推奨の地区規準会員数2,700名へ）
- 7) ロータリー財団への寄付増進と未来の夢計画に向けての準備（国際親善奨学生／ロータリー平和フェローの育成、GSE、地区補助金／マッチンググラントの推進への支援とDDFの友好的な活用のために）一人当たり180ドル以上、クラブでベネファクター1名以上を目標とする
- 8) 米山奨学会への寄付増進（30名の留学学生奨学機会の確保のために）一人当たり20,000円以上の目標額

大和中ロータリークラブ

会 長 舘盛 道明

幹 事 鈴木 洋子

事務局 大和市大和南2丁目1番1号
〒242-0016 大和中央ビル301

例会場 八千代銀行大和支店4F

T E L 046-262-1717

F A X 046-262-1818

E-mail naka-rc@jcom.home.ne.jp

2010～2011年度

クラブ活動計画書

目 次

本年度の運営方針	3
会 務 報 告	4～12
大 和 市 略 図	12
会 計	13～15
委員会活動計画	16～38
クラブ管理運営委員会	16
(イ) クラブ会報委員会	16
(ロ) プログラム委員会	17
年間プログラム予定表	18～25
(ハ) 親睦活動委員会	26
(ニ) スマイルボックス担当	26
(ホ) 出 席 担 当	27
会員増強・会員維持委員会	28
(イ) 職 業 分 類 担 当	28
(ロ) 会 員 選 考 担 当	28
職業分類一覧表	29～31
会場監督 (S A A)	32
奉仕プロジェクト委員会	33
(イ) 職 業 奉 仕 委 員 会	33
(ロ) 社 会 奉 仕 委 員 会	34
(ハ) 国 際 奉 仕 委 員 会	34
(ニ) 姉妹クラブ友好担当	35
(ホ) 新世代育成委員会	35
ロータリー財団委員会	36
(イ) 米 山 奨 学 委 員 会	36
クラブ広報委員会	37
(イ) 広 報 雑 誌 委 員 会	37
(ロ) I T 委 員 会	38
(ハ) ロータリー情報委員会	38
(別表)	
(1) 役員・理事・委員会構成表	39
(2) 大和中ロータリークラブ会員名簿	40～42
(3) 歴代会務分担表	43～46
(4) 退会者名簿	47～50
(5) 大和中ロータリークラブ クラブ運営規定集 (定款・細則・内規)	51～63

親睦は「明るく・楽しく」 奉仕は「心豊か」

2010～11年度のR I会長、レイ・クリギンスミス氏（米国ミズリー州）は「地域を育み・大陸をつなぐ」を本年度のテーマに掲げました。

その一つは「ロータリアン以外の地域の人々にロータリーの目的を説明すること」そして二つ目には「ロータリアンに自分たちの活動の意義について再認識すること」を付け加えています。又、「ロータリーの基本単位である、それぞれのロータリアン、ロータリークラブは1905年の創立以来、クラブや地域のために活動し、人々に奉仕を小さいながらもその地域に役立ってきた」、そして「その奉仕は発展し、今や世界、そして大陸をつなぐものになっている」と述べている。

又、後藤ガバナーは「ロータリーの基本はクラブにある」と、また地区は各クラブがR Iも掲げる「効果的なクラブ」の推奨することを目指し、効果的なクラブとは「魅力のある好いクラブ」と言う事を提案しているのである。

これらガバナーの方針を踏まえ、我がクラブは本年度地域に根ざした活動展開し、奉仕活動の中にも、「明るく、楽しい」例会を心掛け、「心豊かな」活動を実行することを誓い、クラブ運営のテーマは今年度「明るく・楽しく・心豊か」を心に描き、小単位の事業で効果のある例会運営を心掛け、地区にガバナーはじめ他の役員、地区大会実行委員会においても多数のスタッフ等を送り出し、地区運営とクラブ運営と互いに参加する事も多々あるとは思いますが、会員諸兄姉の皆様にはご協力をお願いする次第です。

一年間、皆様と共に全力で活動致します。宜しくご協力の程お願い致します。

- ①ロータリー活動を地域の人々にアピールする
- ②ロータリアン自身の活動の意義の再認識について
- ③会員増強に関わる事
- ④ロータリー財団寄付 1人180ドル以上の協力をお願い致します。
- ⑤米山奨学会寄付 1人2万円以上の協力をお願い致します。
- ⑥地区大会に関わる事

幹 事 鈴 木 洋 子

会長の運営方針に沿って、そのターゲットが実現出来るよう、幹事としての業務を全力にて努める決意です。会員皆様の御指導御協力を宜しくお願いいたします。

会 務 報 告

幹 事 鈴 木 洋 子

1. クラブの沿革

創 立 総 会
R. I. 承 認
チャーターナイト
(認証状伝達式)
スポンサークラブ
特 別 代 表
ガ バ ナ ー
チャーターメンバー
(創 立 会 員)
所 在 地 域
事 務 所
例 会 場

昭和53年5月9日(1978年)於大和市商工会館三階
昭和53年6月23日(1978年)
昭和54年4月22日(1979年)於厚木基地

大和ロータリークラブ
星 幸 男 氏
細 谷 実 氏
23名

大和市(別紙)
大和市大和南2丁目1番1号 大和中央ビル301
電話 046(262)1717 FAX 046(262)1818

- ・昭和53年5月9日～昭和56年6月30日
大和市商工会館3階会議室
 - ・昭和56年7月1日～昭和63年4月30日
(旧)八千代信用金庫大和支店4階会議室
 - ・昭和63年5月12日～平成20年5月22日
大和グランドホテル7階
 - ・平成20年6月12日～八千代銀行大和支店4階会議室
- 例 会 日 毎週木曜日

2. 会員の種類

正 会 員 37名
名 誉 会 員 0名

3. 区域内人口、会員数、出席率、ビジター及びゲスト数、入会金、年会費一覧表

年 度	人 口(人)	会員数(年度始め)	平均出席率	ビジター及びゲスト数 (含仮クラブ)	入 会 金	年 会 費
昭和53年	159,718	23名	100%	80名	100,000円	168,000円
53～54年	159,963	22名	99.76%	484名	100,000円	168,000円
54～55年	164,748	28名	98.12%	496名	100,000円	168,000円
55～56年	167,318	30名	98.59%	532名	100,000円	168,000円
56～57年	169,530	40名	99.96%	519名	100,000円	168,000円
57～58年	171,440	42名	99.1%	519名	100,000円	168,000円
58～59年	173,338	49名	99.27%	548名	100,000円	168,000円
59～60年	174,497	45名	99.74%	656名	100,000円	168,000円
60～61年	176,953	55名	99.23%	634名	100,000円	168,000円
61～62年	179,941	50名	99.48%	585名	100,000円	168,000円
62～63年	183,303	51名	100%	675名	100,000円	168,000円
63～平成1年	187,564	59名	100%	651名	100,000円	200,000円
平成1～2年	191,148	60名	99.92%	641名	100,000円	200,000円
2～3年	194,696	63名	99.97%	612名	100,000円	230,000円
3～4年	197,570	60名	99.83%	619名	100,000円	230,000円
4～5年	200,960	60名	99.61%	675名	150,000円	230,000円
5～6年	202,169	60名	99.35%	570名	150,000円	250,000円
6～7年	203,451	59名	99.48%	534名	150,000円	250,000円
7～8年	205,452	58名	99.40%	571名	150,000円	250,000円
8～9年	206,165	60名	97.46%	455名	150,000円	250,000円
9～10年	207,576	61名	96.42%	401名	150,000円	250,000円
10～11年	208,640	56名	94.04%	445名	150,000円	250,000円
11～12年	210,734	59名	94.22%	452名	150,000円	250,000円
12～13年	212,921	54名	96.69%	411名	150,000円	250,000円
13～14年	214,573	53名	97.60%	343名	150,000円	250,000円
14～15年	216,463	51名	98.00%	346名	150,000円	250,000円
15～16年	218,352	49名	90.58%	202名	100,000円	250,000円
16～17年	220,200	43名	96.22%	148名	100,000円	250,000円
17～18年	220,950	42名	93.06%	71名	100,000円	250,000円
18～19年	222,152	42名	91.47%	58名	100,000円	250,000円
19～20年	223,296	41名	89.52%	40名	100,000円	250,000円
20～21年	225,164	40名	89.45%	60名	100,000円	230,000円
21～22年	226,924	39名			100,000円	230,000円
22～23年	226,247	37名			100,000円	250,000円

4. 年度別クラブ会員入退会者数一覧表

年 度	会 長 名	入会者数	退会者数	増減数	年度末会員数
昭和53年 (1978)	矢 野 久 元	0	1	- 1	22
53～54年 (1978～1979)	矢 野 久 元 蜂 屋 良 平	13	7	+ 6	28
54～55年 (1979～1980)	芦 田 敬 治	3	1	+ 2	30
55～56年 (1980～1981)	亀 谷 志 郎	12	2	+10	40
56～57年 (1981～1982)	伊 藤 正 男	5	3	+ 2	42
57～58年 (1982～1983)	寺 田 五 六	12	5	+ 7	49
58～59年 (1983～1984)	長谷川 清 一	3	7	- 4	45
59～60年 (1984～1985)	猪 熊 唯 夫	13	3	+10	55
60～61年 (1985～1986)	上 田 利 久	2	7	- 5	50
61～62年 (1986～1987)	藤 田 重 成	5	4	+ 1	51
62～63年 (1987～1988)	富 澤 重 徳	11	3	+ 8	59
63～平成1年 (1988～1989)	石 渡 英二郎	4	3	+ 1	60
平成1～2年 (1989～1990)	北 砂 富 三	7	4	+ 3	63
2～3年 (1990～1991)	有 澤 昭 二	2	5	- 3	60
3～4年 (1991～1992)	松 本 忠 明	3	3	0	60
4～5年 (1992～1993)	辻 國 明	4	4	0	60
5～6年 (1993～1994)	伊 藤 英 夫	2	3	- 1	59
6～7年 (1994～1995)	古 木 勝 治	3	4	- 1	58
7～8年 (1995～1996)	高 橋 政 勝	4	2	+ 2	60
8～9年 (1996～1997)	土 屋 翁 三	3	2	+ 1	61
9～10年 (1997～1998)	後 藤 定 毅	2	7	- 5	56
10～11年 (1998～1999)	橋 本 健 彦	3	0	+ 3	59
11～12年 (1999～2000)	中 西 功	2	7	- 5	54
12～13年 (2000～2001)	近 藤 富士男	2	3	- 1	53
13～14年 (2001～2002)	鈴 木 久次郎	5	7	- 2	51
14～15年 (2002～2003)	前 原 一 男	3	5	- 2	49
15～16年 (2003～2004)	長 野 俊 八	1	7	- 6	43
16～17年 (2004～2005)	神 作 彰	1	2	- 1	42
17～18年 (2005～2006)	松 崎 正 実	5	5	0	42
18～19年 (2006～2007)	古 郡 清	2	3	- 1	41
19～20年 (2007～2008)	藤 塚 勝 明	2	3	- 1	40
20～21年 (2008～2009)	梅 田 秀 雄	1	2	- 1	39
21～22年 (2009～2010)	高 橋 清	3	5	- 2	37

5. 会員状況

a) 会員名簿一覧表 (別表(2))

b) 会員年齢構成 (22年7月1日現在)

40才台	1名	} 計 37名	最 高 齢	89才
50才台	8名		最 年 少	48才
60才台	16名		平 均	65.91才
70才台	8名			
80才台	4名			

c) クラブ在籍年数 (22年7月1日現在)

1年未満	3名	9年以上	1名	18年以上	0名
1年以上	1名	10年以上	0名	19年以上	1名
2年以上	1名	11年以上	1名	20年以上	1名
3年以上	1名	12年以上	0名	21年以上	2名
4年以上	3名	13年以上	0名	22年以上	2名
5年以上	0名	14年以上	0名	23年以上	2名
6年以上	1名	15年以上	0名	24年以上	0名
7年以上	1名	16年以上	1名	25年以上	12名
8年以上	2名	17年以上	1名	計	37名

d) 100%出席会員数 (22年7月1日現在)

29年間	3名	後藤、藤田、高橋(政)	9年間	1名	橋本(日)
28年間	2名	松崎、中西	7年間	1名	青柳
27年間	2名	長野、神作	6年間	1名	鈴木
25年間	1名	古郡			
23年間	2名	藤塚、梅田			
22年間	1名	高橋(清)			
20年間	1名	石川			
19年間	1名	横澤			
16年間	1名	山崎			
11年間	1名	舘盛			

6. 役員、理事、委員会構成メンバー (別表(1))

7. 理事会・例会・委員会

毎月第二例会後に定例理事会を開催する他、必要に応じて随時開催する。

例会は毎週木曜日午後12時30分より開催するが、時により変更する。

定款第6条第1節(C)により年4回例会を取り止める。

尚、国の定めた祝祭日及び正月三ヶ日は休会とする。

各委員会は、活動打ち合わせのため適時委員会を開催する。

8. クラブ協議会 (クラブアッサンブリー)

- | | | |
|---------|----------------|-------------|
| ① 新年度 | ② ガバナー公式訪問1週間前 | ③ ガバナー公式訪問時 |
| ④ 地区大会後 | ⑤ 12月中 | ⑥ 年度末 |

9. ロータリー財団寄付状況（平成22年5月31日現在）

会 員

○ベネファクター

1	上田利久君	2	郡司守君	3	中西功君	4	後藤定毅君
5	高橋政勝君	6	神作彰君	7	藤塚勝明君	8	梅田秀雄君
9	高橋清君						

○マルチプルポールハリスフェロー

1	④藤田重成君	2	②古木勝治君	3	⑤高橋清君	4	④上田利久君
5	②郡司守君	6	②伊藤英夫君	7	②北砂富三君	8	③松崎正実君
9	④長野俊八君	10	中西功君	11	⑨高橋政勝君	12	②寺田五六君
13	②番桂柳君	14	②梅田秀雄君	15	③後藤定毅君	16	藤塚勝明君
17	③館盛道明君	18	神作彰君	19	石川健次君	20	②山崎賢二君
21	古郡清君	22	横澤創君	23	②青柳文四郎君		

○ポールハリスフェロー

1	後藤歩さん	2	飯田豊太君	3	岸幸博君	4	橋本日吉君
---	-------	---	-------	---	------	---	-------

○準フェロー

1	神作彰君	2	梅田秀雄君	3	飯田豊太君	4	石川健次君
5	寺田五六君	6	横澤創君	7	藤田重成君	8	北砂富三君
9	岸幸博君	10	長野俊八君	11	松崎正実君	12	高橋清君
13	後藤定毅君	14	藤塚勝明君	15	古郡清君	16	高橋政勝君
17	上田利久君	18	館盛道明君	19	郡司守君	20	伊藤英夫君
21	山崎賢二君	22	番桂柳君	23	橋本日吉君	24	小柳智裕君
25	鈴木洋子君	26	中島康次郎君	27	梅野房子君	28	古木勝治君
29	原島賢一郎君	30	北島照介君	31	中西功君	32	入江公敏君
33	小菅実君						

(元会員・会員夫人)

○ベネファクター

1	芦田敬治君	2	長谷川清一君	3	辻國明君
---	-------	---	--------	---	------

○マルチプルポールハリスフェロー

1	②亀谷志郎君	2	⑧長谷川清一君	3	松本三郎君	4	⑥芦田敬治君
5	②有澤昭二君	6	二見長幸君	7	児玉清君	8	②鈴木久次郎君
9	土屋翁三君	10	辻國明君	11	富澤重徳君	12	橋本健彦君
13	②近藤富士男君	14	長谷川清君	15	蒔田誠三郎君	16	松本忠明君
17	石田忠良君	18	前原一男君	19	佐藤信夫君		

○ポールハリスフェロー

1	矢野久元君	2	伊藤正男君	3	布施光雄君	4	細野順造君
5	竹之内弘美君	6	保田達君	7	石渡みよ子君	8	猪熊唯夫君
9	佐藤正勝君	10	茅根勉君	11	清水洋三君	12	木村誠二君
13	加藤眞義君	14	本田博司君	15	上村幹雄君	16	石渡英二郎君
17	柿本伊佐男君	18	古田土勝美君	19	小林勇君	20	竹原繁男君
21	依田儀一君	22	牧野弘君	23	目黒雄介君	24	小野孝男君
25	村松令隆君	26	蒲生文衛君	27	鈴木博士君	28	菊池康公君
29	椋茂廣君	30	松本千枝夫人	31	塙満子君		

○準フェロー

1	三浦泰之君	2	池田武和君	3	小島健一君	4	古川巖君
5	竹本正俊君	6	千田徹君	7	原田穆君	8	古田土勝美君
9	岩田一夫君	10	上村幹雄君	11	椋茂廣君	12	竹原繁男君
13	石渡英二郎君	14	星輝明君	15	依田儀一君	16	山下精一君
17	山口敏彦君	18	迫田洋一郎君	19	薩田信次郎君	20	中稲隆次君
21	蒲生文衛君	22	中村彰君	23	佐々木万次郎君	24	加藤眞義君
25	菊地康公君	26	木村誠二君	27	児玉清君	28	土屋翁三君
29	橋本健彦君	30	佐藤伴道君	31	村松令隆君	32	阿部豪一君
33	近藤富士男君	34	本多博司君	35	鈴木久次郎君	36	長谷川清君
37	鈴木博士君	38	小倉弘君	39	高橋潔君	40	間山進也君
41	水落悟君	42	工藤俊治君	43	有澤昭二君	44	芦田敬治君
45	疋田哲夫君	46	小林勇君	47	牧野弘君	48	蒔田誠三郎君
49	目黒雄介君	50	中島繁男君	51	小野孝男君	52	前原一男君
53	石田忠良君	54	松本忠明君	55	塙満子君	56	佐藤信夫君
57	鎌田稔君						

10. 米山奨学金寄付状況（平成22年5月31日現在）

(1) 会 員

○米山功労者 マルチプル

1	⑥郡 司 守 君	2	⑤藤 田 重 成 君	3	⑥松 崎 正 実 君	4	⑥長 野 俊 八 君
5	⑤寺 田 五 六 君	6	④高 橋 政 勝 君	7	④伊 藤 英 夫 君	8	③藤 塚 勝 明 君
9	③後 藤 定 毅 君	10	④神 作 彰 君	11	③梅 田 秀 雄 君	12	④高 橋 清 君
13	③中 西 功 君	14	②古 郡 清 君	15	③館 盛 道 明 君	16	④上 田 利 久 君
17	③山 崎 賢 二 君	18	③青 柳 文 四 郎 君	19	②石 川 健 次 君		

○米山功労者

1	古 木 勝 治 君	2	飯 田 豊 太 君	3	番 桂 柳 君	4	岸 幸 博 君
5	横 澤 創 君	6	橋 本 日 吉 君	7	小 柳 智 裕 君		

○準米山功労者

1	北 砂 富 三 君	2	中 島 康 次 郎 君	3	鈴 木 洋 子 君	4	梅 野 房 子 君
5	入 江 公 敏 君	6	原 嶋 賢 一 郎 君	7	北 島 照 介 君		

(2) 元会員

○米山功労法人

1	聖 和 電 設 (株) (古田土勝美君)	2	車 体 工 業 (株) (清水洋三君)	3	株日本コンピューターユースエイジ (辻 國明君)
---	-------------------------	---	------------------------	---	-----------------------------

○米山功労者 メジャードナー

1	⑳長谷川 清一 君
---	-----------

○米山功労者 マルチプル

1	⑥芦 田 敬 治 君	2	④長 谷 川 清 君	3	③有 澤 昭 二 君	4	③布 施 光 男 君
5	③橋 本 健 彦 君	6	③大 高 安 男 君	7	③富 澤 重 徳 君	8	③石 渡 英 二 郎 君
9	③上 村 幹 雄 君	10	③迫 田 洋 一 郎 君	11	③土 屋 翁 三 君	12	②近 藤 富 士 男 君
13	②村 松 令 隆 君	14	③鈴 木 久 次 郎 君	15	③松 本 忠 明 君	16	②前 原 一 男 君
17	⑤佐 藤 信 夫 君						

○米山功労者

1	松 本 三 郎 君	2	小 島 建 一 君	3	薩 田 信 次 郎 君	4	本 田 博 司 君
5	加 藤 眞 義 君	6	蒔 田 誠 三 郎 君	7	茂 木 諄 三 君	8	石 田 忠 良 君

○準米山功労者

1	鎌 田 稔 君				
---	---------	--	--	--	--

- | | | |
|-------------|---------------------|---------------|
| 11. 青少年育成基金 | 500,000円 (平成15年 3月) | 故長谷川清一君ご遺族 |
| | 200,000円 (平成15年 5月) | 藤田重成君 |
| | 100,000円 (平成15年 6月) | 後藤定毅君 |
| | 36,000円 (平成15年 7月) | ゴルフ同好会 |
| | 100,000円 (平成15年10月) | 故芦田敬治君ご遺族 |
| | 16,000円 (平成16年 6月) | ゴルフ同好会 |
| | 20,000円 (平成17年 3月) | 大和中ロータリークラブ有志 |
| | 100,000円 (平成18年 6月) | 後藤定毅君 |
| | 50,000円 (平成21年 4月) | 藤田重成君 |

12. 歴代会務分担表 (別表(3))

13. 大和中ロータリークラブ運営規定集 (定款・細則・内規)

14. 2010～2011年度地区委員

ガバナー	後藤 定毅
地区幹事	藤塚 勝明
地区副幹事	石川 健次
地区資金委員長	古郡 清
地区会計	横澤 創
地区職業奉仕委員会	長野 俊八
地区国際奉仕委員会	松崎 正実
地区大会実行委員長	高橋 政勝
地区大会幹事	山崎 賢二

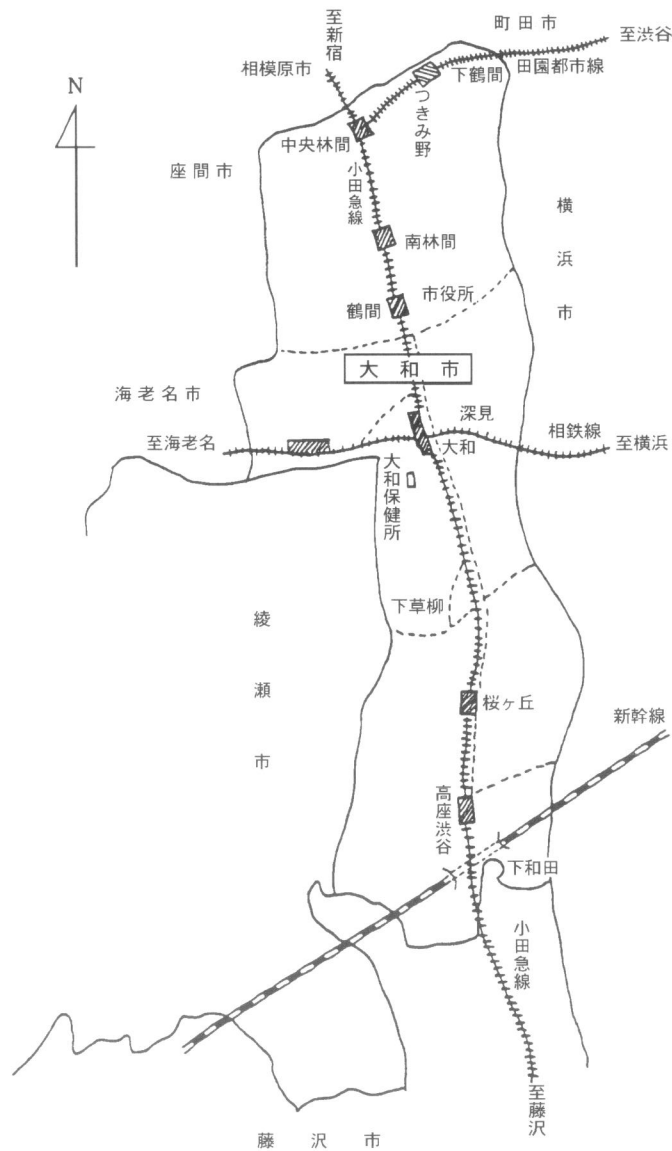
15. 歴代ガバナー・分区代理・会長・幹事名 (敬称略)

年 度	ガバナー	分区代理	会 長	幹 事
昭和53年 (1978)	細谷 実 (藤沢北)	第359地区第6分区 松村 松太郎 (座間)	矢野 久元	長谷川 清一
53～54年 (1978～1979)	蔵並 定男 (鎌倉)	第259地区第6分区 福田 清次郎 (相模原南)	矢野 久元 蜂屋 良平	長谷川 清一
54～55年 (1979～1980)	伊藤 茂 (相模原中)	塚本 勉 (大和)	芦田 敬治	北砂 富三
55～56年 (1980～1981)	加藤 進治 (横浜)	斎藤 隆寿 (座間)	亀谷 志郎	富澤 重徳
56～57年 (1981～1982)	渡辺 嘉造伊 (川崎南)	鹿島 直磨 (相模原中)	伊藤 正男	辻 國明
57～58年 (1982～1983)	加藤 宗兵衛 (伊勢原)	小沢 睦 (大和)	寺田 五六	郡司 守明 辻 國明
58～59年 (1983～1984)	加島 淳 (横浜磯子)	第259地区第11分区 大岩 真 (厚木)	長谷川 清一	古木 勝治
59～60年 (1984～1985)	津田 進 (川崎北)	亀谷 志郎 (大和中)	猪熊 唯夫	伊藤 英夫
60～61年 (1985～1986)	上野 良一 (横浜中)	真崎 勇 (座間)	上田 利久	近藤 富士男
61～62年 (1986～1987)	小林 亮 (相模原)	会田 国喜 (厚木中)	藤田 重成	土屋 翁三
62～63年 (1987～1988)	岡崎 全宏 (横浜南)	川島 熊平 (大和)	富澤 重徳	高橋 政勝
63～平成1年 (1988～1989)	谷口 栄 (横浜東)	大貫 嘉一 (厚木)	石渡 英二郎	松本 三郎
平成1年～2年 (1989～1990)	濱田 勝彌 (伊勢原)	第278地区第5分区 土橋 亘 (大和田園)	北砂 富三	後藤 定毅
2～3年 (1990～1991)	古館 誠 (鎌倉大船)	第278地区第6分区 大矢 晴行 (大和)	有澤 昭二	中西 功
3～4年 (1991～1992)	山道 昭彦 (藤沢)	第2780地区第6分区 黄金井 一太 (厚木)	松本 忠明	長野 俊八
4～5年 (1992～1993)	生沼 富治 (小田原北)	手塚 正夫 (座間中央)	辻 國明	前原 一男
5～6年 (1993～1994)	山本 淳正 (逗子)	芦田 敬治 (大和中)	伊藤 英夫	神作 彰
6～7年 (1994～1995)	神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)	世古 晴次 (海老名)	古木 勝治	古田土 勝美
7～8年 (1995～1996)	真崎 勇 (座間)	三河 政夫 (座間中央)	高橋 政勝	上村 幹雄
8～9年 (1996～1997)	河本 親秀 (大磯)	石川 範義 (厚木中)	土屋 翁三	松崎 正実
9～10年 (1997～1998)	小山 計玄 (伊勢原)	山下 恵代 (座間)	後藤 定毅	古郡 清
10～11年 (1998～1999)	後藤 忠雄 (横須賀南)	道岸 唯一 (大和)	橋本 健彦	藤塚 勝明
11～12年 (1999～2000)	中山 達二郎 (綾瀬)	加藤 一郎 (厚木)	中西 功	蒲生 文衛
12～13年 (2000～2001)	小沢 一彦 (横須賀)	笠松 歳雄 (大和田園)	近藤 富士男	梅田 秀雄
13～14年 (2001～2002)	竹内 万也 (秦野)	辻 國明 (大和中)	鈴木 久次郎	高橋 清
14～15年 (2002～2003)	鹿島 直磨 (相模原中)	第2780地区 山本 淳一 (厚木)	前原 一男	石川 健次

年 度	ガバナー	ガバナー補佐	会 長	幹 事
15 ～ 16 年 (2003～2004)	中西 功 (鎌倉西)	第2780地区第6グループ 奥 岨 宏 一 (大和)	長 野 俊 八	蒔 田 誠三郎
16 ～ 17 年 (2004～2005)	松 宮 剛 (茅ヶ崎湘南)	山 際 正 道 (座間中央)	神 作 彰	館 盛 道 明
17 ～ 18 年 (2005～2006)	仲 田 昌 弘 (鎌倉中央)	塩 塚 幸 彦 (厚木中)	松 崎 正 実	鈴 木 博 士 明 館 盛 道 明
18 ～ 19 年 (2006～2007)	西 田 隆 (座間中央)	後 藤 定 毅 (大和中)	古 郡 清	横 澤 創
19 ～ 20 年 (2007～2008)	小佐野 圭 三 (横須賀)	吉 岡 敏 (厚木)	藤 塚 勝 明	山 崎 賢 二
20 ～ 21 年 (2008～2009)	山 地 裕 昭 (足柄)	金 知 出 (座間中央)	梅 田 秀 雄	岸 幸 博
21 ～ 22 年 (2009～2010)	奥 津 光 弘 (秦野中)	高 橋 晃 (海老名)	高 橋 清	飯 田 豊 太
22 ～ 23 年 (2010～2011)	後 藤 定 毅 (大和中)	佐々木 辰 郎 (大和田園)	館 盛 道 明	鈴 木 洋 子

16. 姉妹クラブ 大韓民国東慶州 R C (国際ロータリー第3630地区) 昭和58年5月15日締結

大 和 市 略 図



会 計

飯田 豊太

当クラブの会計予算は、①一般会計、②奉仕会計、③周年記念事業積立金がありますが、一般会計においては会員数の減少及び世界的に100年に一度と言われる経済状況の難しい時期にあります。従って奉仕会計には、一層の御協力をお願い致します。

1. 本年度の諸会費の内訳及び納入時期は、下記の通りと致します。

(1) 入	会	金	100,000円	入会時に納入
(2) 年	会	費	250,000円	年2回に分割
(3) 周年記念事業積立金			12,000円	年2回に分割
(4) スマイルボックス			12,000円	年2回に分割
(5) 臨時	会	費		随 時

上記のうち(2)、(3)の納入日は、それぞれ7月1日および1月1日です。

会費等は現金・小切手の持参もしくは銀行振込で納入してください。

2. 会費等の振込先は下記の銀行口座とします。

銀行名 八千代銀行 大和支店

口座番号 普通預金 0711972

口座名義 大和中ロータリークラブ 会計 飯田 豊太

3. 当クラブの2010～2011年度予算は、別紙のとおりとします。

4. 年に2回(前、後期末)半期毎報告書を作成し、全会員に報告致します。また、月次毎の決算を理事会に提出します。

2010～2011年度 一般会計予算

(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(単位 円)

科	目	予 算 額	備 考	
収入の部	前年度繰越金	858,127		
	年会費	9,750,000	前期@125,000×37人 後期@125,000×41人	
	入金	400,000	@100,000×4人	
	ビジター会費	100,000	@2,500×40週	
	雑収入	1,500	預金利息等	
	合計	11,109,627		
支出の部	クラブ運営費	例会費	3,600,000	例会食事代
		理事会費	20,000	定例理事会
		クラブ協議会費	20,000	
		事務局費	1,056,000	月80,000×12ヶ月、交通費実費
		事務所賃借料	900,000	@75,000×12ヶ月
		渉外費	400,000	会長・幹事会、対外慶弔費等
		慶弔費	50,000	クラブ内慶弔費
		贈答費	25,000	記念品、お礼等
		通信費	200,000	電話、FAX等
		図書費	120,000	「ロータリーの友」、 「ザ・ロータリアン」紙購読料
		印刷費	450,000	クラブ活動計画書、ポケット名簿
		文具費・備品費	500,000	事務機器メンテナンス、事務用品費等
	雑費	1,000		
	小計	7,342,000		
クラブ奉仕	出席委員会	40,000	皆出席記念品	
	クラブ会報委員会	150,000	編集費、印刷費	
	親睦活動委員会	350,000	家族会等 補助	
	プログラム委員会	80,000	ゲストスピーカー謝礼等	
	広報・雑誌委員会	10,000	資料作成費	
	ロータリー情報委員会	5,000	資料作成費	
	他のクラブ奉仕委員会	5,000		
	小計	640,000		
地区費	地区資金	916,500	前期@11,750×37人、後期@11,750×41人	
	地区大会分担金	328,000	@8,000×41人	
	地区協議会費	104,000	@8,000×13人	
	I・M分担金	328,000	@8,000×41人	
	米山記念奨学会	195,000	前期@2,500×37人、後期@2,500×41人	
	小計	1,871,500		
R.I負担金	人頭分担金	178,920	前期@26\$×37人、後期@25\$×41人 \$=90	
	小計	178,920		
	予備費	1,077,207		
	合計	11,109,627		

2010～2011年度 奉仕会計予算

(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	備 考
収入の部	前年度繰越金	3,232,178	
	スマイル	1,500,000	
	雑収入	1,500	預金利息等
	合計	4,733,678	
支出の部	職業奉仕	150,000	
	社会奉仕	150,000	
	国際奉仕	600,000	
	新世代奉仕	350,000	
	記念品代	250,000	
	予備費	3,233,678	
	合計	4,733,678	

周年記念事業積立金会計予算

(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	備 考
収入の部	前年度繰越金	1,011,023	
	会員積立金	468,000	前期@6,000×37人 後期@6,000×41人
	雑収入	1,000	預金利息等
	合計	1,480,023	

==== クラブ管理運営委員会 =====

担当役員 神 作 彰
委 員 各委員会委員長
担 当 委 員 長

○活動方針

当クラブもCLPを採用して以来、以前とあまり変化が無く、委員会の構成（地域密着）を見直し、より一層ロータリーの認識度を高めるよう努力します。

○実施計画

副会長として会長補助、委員会に対する助言、並びに本年度はガバナーズクラブですので地区との協力を計るよう努めます。

==== (イ)クラブ会報委員会 =====

委員長 中 島 康次郎
副委員長 高 橋 清
委 員 横 澤 創
阿 萬 正 巳

○活動方針

クラブ会報委員会では、実施された例会及びクラブ行事の内容を会員や関係の方々に、読み易く、見て楽しく、心が伝わる、スローガンの「明るく、楽しく、心豊か」に沿った紙面作りを心がけます。

○実施計画

- (1) 投稿者、委員会表者の意に沿いつつコンパクトに最小の紙面に収まる紙面作りをします。
- (2) 例会に限らず炉辺会議等の取材も心がけます。
- (3) スマイル投稿にはできるだけ写真を添えたいと思います。
- (4) 委員会報告は簡潔に、卓話は卓話者のご紹介と内容の要点にとどめたいと思います。
- (5) できるかぎりスローガンが伝わる写真を登用します。

＝ (ロ) プログラム委員会

委員長 中西 功
副委員長 藤塚 勝明
委員 北砂 富三

○活動方針

「明るく、楽しく、心豊か」なロータリーライフを楽しむ為に、その源となる例会プログラムの充実を計りたいと思います。

○実施計画

- (1) 外部各界識者10名を卓話に招く。
- (2) 会員間商取引を促進する為に、職業奉仕委員会とコラボレーションし卓話で自社の販促活動を6回(18名)行う。
- (3) ロータリーの活動月間を尊重し、なるべく月初に担当委員会による活動月間啓発を行う。
- (4) クラブフォーラムを増やし、比較的新しい会員の為のロータリー勉強の機会とする。

年間プログラム予定表

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
7 月	1	木	12:30	例会（1535回） 挨拶 第1回クラブ協議会	「就任にあたり」 館盛道明会長 鈴木洋子幹事	会長・幹事
	8	木	12:30	例会（1536回） クラブフォーラム	「クラブ管理運営について」	クラブ管理 運営委員会
	15	木	12:30	例会（1537回） 卓話	「地区大会について」	実行委員長
	22	木	12:30	例会（1538回） クラブフォーラム	「会員増強月間を控えて」	会員増強退会 防止委員会
	29	木		取り止め例会（クラブ定款第5条第1節(C)による）		
8 月	5	木		例会（1539回） 8月8日 家族会に振替		
	12	木		取り止め例会（クラブ定款第5条第1節(C)による）		
	19	木	12:30	例会（1540回） 卓話	「地区大会記念ゴルフコンペについて」	郡司 守
	26	木	12:30	例会（1541回） 卓話	「地区大会について」	実行委員長
9 月	2	木	12:30	例会（1542回） クラブフォーラム	「新世代のための月間にあたり」	新世代育成 委員会
	9	木	12:30	例会（1543回） 卓話	「馬頭農村塾」	麻布獣医大名誉教授 石橋正彦
	16	木	12:30	例会（1544回） 卓話	「職業奉仕の実践者」	梅田秀雄 石川健次
	23	木		休会		
	30	木	12:30	例会（1545回） クラブフォーラム	「米山月間を控えて」	米山奨学 委員会

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
7 / 8 (木) 定例理事役員会	2 飯田 2 原嶋 20 北砂 24 郡司	30 北砂		1 小柳 17 高橋(清)	10 後藤 23 高橋(清)
会員増強および拡大月間 8 / 19 (木) 定例理事役員会	4 高橋(政) 12 古木 30 館盛	9 山崎	22 小柳		3 石川 17 中西
新世代のための月間 9 / 9 (木) 定例理事役員会	18 辻 23 小菅	2 藤塚 26 郡司 28 古郡	3 松本 15 松崎 23 北砂	1 後藤 3 小菅 10 入江 20 寺田 24 辻	3 小菅 9 長野 13 寺田

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
10 月	7	木	12:30	例会（1546回） クラブフォーラム	「職業奉仕月間にあたり」	職業奉仕 委員会
	14	木		例会（1547回） 10月16日に振替休会		
	15	金		地区大会前日準備		
	16	土	例会振替	地区大会 第1日目 10月14日 振替		
	17	日	例会振替	地区大会 第2日目 10月28日 振替		
	21	木	16:30	箱根湯本 慰労会 第2回クラブ協議会	「地区大会を終えて」	会長・幹事
	28	木	12:30	例会（1548回） 卓話	「我が社のPR」	長野俊八 山崎賢二 阿萬正巳
11 月	4	木	12:30	例会（1549回） クラブフォーラム	「ロータリー財団月間にあたり」	ロータリー財団 委員会
	11	木	12:30	例会（1550回） 卓話	「大和市国際化協会」	小林 仁
	18	木	12:30	例会（1551回） 卓話	「職業奉仕の実践者」	神作 彰 岩松 薫
	25	木	12:30	例会（1552回） 第3回クラブ協議会	「ガバナー公式訪問に備えて」	
12 月	2	木	12:30	例会（1553回） 卓話	年次総会 家族月間 「里親」	清水三和子
	9	木		例会（1554回） ガバナー公式訪問	「後藤定毅ガバナーと共に」 (夜間例会)	会長・幹事
	16	木	12:30	例会（1555回）	「半期を終えて」 クリスマス例会	会長・幹事
	23	木		休会		
	30	木		取り止め例会（クラブ定款第5条第1節(C)による）		

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
職業奉仕・米山月間 10/7(木) 定例理事役員会	4 小柳	24 梅田 27 神作	7 岸 10 寺田 13 前原 18 入江 20 郡司 22 北島 24 梅田	1 中島 18 石川	13 入江 16 藤塚 18 古木 26 中島 30 高橋(政)
ロータリー財団月間 11/11(木) 定例理事役員会	9 梅野	6 番 8 小菅 21 梅野義信 (主人) 25 岩松 29 高橋(政)	3 後藤 10 阿萬 18 山崎 19 小菅 21 橋本(日)	6 北砂 11 鈴木 13 橋本 27 郡司	1 北島 5 飯田 10 梅野
家族月間 12/2(木) 定例理事役員会	1 岩松 5 岸 18 山崎	3 岸 4 館盛 17 松本 24 中西 30 辻	14 長野	6 佐藤 10 松崎 15 松本 20 原嶋	3 松崎 8 郡司 10 館盛

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
1 月	6	木	12:30	例会（1556回）	「年頭にあたり」	会 長
	13	木	12:30	例会（1557回） クラブフォーラム	「ロータリー理解推進月間にあたり」	ロータリー情報 委員会
	20	木	12:30	例会（1558回） 卓話	「我が社のPR」	辻 彰彦 古郡 清 橋本日吉
	27	木	12:30	例会（1559回） 卓話	「男の和装」	座間中央RC 大塚和光
2 月	3	木	12:30	例会（1560回） クラブフォーラム	「世界理解月間にあたり」	国際奉仕 委員会
	10	木	12:30	例会（1561回） 卓話	「我が社のPR」	原嶋賢一郎 入江公敏 鈴木洋子
	17	木	12:30	例会（1562回） ギターミニコンサート		プログラム
	24	木	12:30	例会（1563回） クロスカルチャーセミナー	「ペルーの文化」	プログラム
3 月	3	木	12:30	例会（1564回） クラブフォーラム	「識字率向上月間にあたり」	社会奉仕 委員会
	10	木	12:30	例会（1565回） 3月13日 I・M 振替		
	13	日		第6グループ I・M（ホスト大和RC）		
	17	木	12:30	例会（1566回） 卓話	「我が社のPR」	飯田豊太 横澤 創 岩松 薫
	24	木	12:30	例会（1567回） クロスカルチャーセミナー	「食文化から外国を知ろう」	エスニック・ねっと
	31	木	12:30	例会（1568回） 卓話	「我が社のPR」	岸 幸博 北島照介

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
ロータリー理解推進月間 1/13(木) 定例理事役員会	4 松崎 19 梅田 21 長野 21 北島 23 上田	1 石川 12 小柳 23 上田 23 伊藤 24 橋本 29 松崎	7 梅野 17 伊藤 21 藤田 26 古木 29 原嶋	1 中西 16 古木 17 伊藤	6 山崎 8 鈴木
世界理解月間 2/10(木) 定例理事役員会	2 石川 7 中西 12 高橋(清) 14 入江 15 青柳	17 古木	20 石川	25 上田	28 古郡
識字率向上月間 3/17(木) 定例理事役員会	5 横澤 6 神作 18 伊藤 19 古郡 31 番	21 高橋(清) 22 青柳 27 阿萬	17 中島 19 中西 21 青柳 26 飯田 31 神作	1 古郡 4 飯田 8 横澤 岩松	3 神作 4 岸 15 橋本 28 小柳

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
4 月	7	木	12:30	例会（1569回） クラブフォーラム	「ロータリー雑誌月間にあたり」	雑誌委員会
	14	木	12:30	例会（1570回） 卓話	「我が社のPR」	青柳文四郎 伊藤英夫 小柳智裕
	21	木	12:30	例会（1571回） ギターミニコンサート		プログラム 委員会
	28	木	12:30	例会（1572回） 卓話	「大倉山のホテル」	横浜北R.C 西山富太郎
5 月	5	木		休会		
	12	木	12:30	例会（1573回） 卓話	「創立記念日」	郡司 守
	19	木	12:30	例会（1574回） クラブフォーラム		クラブ広報 委員会
	26	木	12:30	例会（1575回） 家族会に振替		
6 月	2	木	12:30	例会（1576回） クラブフォーラム	趣味職業別親睦活動月間	親睦活動 委員会
	9	木	12:30	例会（1577回） 卓話	「パストガバナー」	会 長
	16	木	12:30	例会（1578回） 第4回クラブ協議会	「年度終了にあたり」	会長・幹事
	23	木	12:30	例会（1579回）	「一年を顧みて」	会長・幹事
	30	木		取り止め例会（クラブ定款第5条第1節(C)による）		

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
ロータリー雑誌月間 4/14(木) 定例理事役員会	11 藤塚 20 鈴木	10 横澤 11 後藤 17 寺田 21 北島 30 藤田	2 藤塚 3 上田 10 高橋(政) 18 古郡 29 横澤	1 番 1 藤田 1 梅田 1 岸 1 山崎 1 高橋(政) 1 青柳 8 館盛 29 梅野	1 辻 9 梅田 18 番 20 原嶋
5/12(木) 定例理事役員会	15 藤田 15 橋本 22 中島	11 中島 28 入江 28 原嶋	13 辻 18 館盛 21 番 27 高橋(清)	17 藤塚 22 北島	
親睦活動月間 6/9(木) 定例理事役員会	11 後藤 14 寺田	8 飯田 9 長野	10 岩松	10 神作 21 長野 28 阿萬	13 横澤 21 青柳 23 伊藤 23 上田 23 北砂 23 藤田 23 松本

（ハ）親睦活動委員会

委員長 青 柳 文四郎
副委員長 辻 彰彦
委員 北 島 照介
岩 松 薫
小 菅 実
古 郡 清

○活動方針

会長方針 親睦は「明るく楽しく」奉仕は「心豊か」をターゲットに基いて、会員の親睦を図り更にクラブの活性化に寄与できる活動をしていきたい。

○実施計画

家族及び 移動例会 適時親睦会
動物サーカス 8月初旬
地引網 花見
クリスマス会
歓迎会 お祝い等

（ニ）スマイルボックス担当委員会

担当委員長 松 崎 正 実
副委員長 郡 司 守

○活動方針

会員やご家族の喜びや幸せな情報をより多く聴取して、快くスマイルに協力して頂けるようお願いし、少しでも多くのスマイルが集まりますよう活動してまいります。

○実施計画

- （1）予算にとらわれず、会員の自覚にまかせてお願いしていきたいと考えております。
- （2）その結果として予算が達成出来れば上出来と考え、実行していくよう努力致します。
- （3）次年度の奉仕予算に影響が出ないよう会員の協力を仰ぎたいと思います。

＝ (ホ)出席担当 ＝

担当委員長 長 野 俊 八

副委員長 番 桂 柳

○活動方針

本年度大和中ロータリークラブは、ガバナーズクラブとして、クラブの核ともいえる出席を基に、定例会、地区大会、6グループクラブの各委員会の行事全体への出席向上に他の委員会と連携を密にして活動します。

○実施計画

- (1) メーキャップを速やかに積極的に実施して頂く様に促す。
- (2) 例会前後、14日間、定例会の時の前14日間又は後14日以内がメーキャップ期間です。出席の重要性を理解し再認識して頂く様努めます。

会員増強・会員維持委員会

委員長 入江公敏
副委員長 阿萬正巳
委員 北島照介

○活動方針

「会員増強はロータリアン最大の奉仕である」ことを念頭に置き、熱意を持った活動を実施します。対象者としては、完成した人だけでなく、将来成長が期待できる人も含めて幅広くアプローチを行う。

○実施計画

- (1) ロータリーを知ってもらうために入会案内書等を検討する。
- (2) 前年度からの引継ぎを密に行い、取りこぼしを防ぐ。
- (3) 会員見込み者を、昼・夜とわず例会に招待する。

(イ)職業分類担当

担当委員長 上田利久

○活動方針

皆様ご存知の如く職業奉仕Vocational serviceへの思いはシカゴの暗黒街アルカポネとの対決、そして同時に襲った世界的大不況ウォール街のブラックマンデーの中で生まれ育ったと言われていますが、とは言え、今日の様に、地域社会を巻き込んだ経済的不況の中での会員増強など、生易しいこととは思われません。

○実施計画

ここ数年来容認されていることに従い、2010年5月中旬現在の職業分類一覧表を作成しました。どうぞ皆様、充填～未充填にこだわらず、新しい時代を反映した職業・専門職務の方々を推薦して下さい。

(ロ)会員選考担当

担当委員長 長野俊八

○活動方針

経済状況の好転の兆しが見えない現状の中で、会員増強が大変難しくなっております。会員各位の力で入会に繋がる可能性がある方々を推薦して頂きたい。

○実施計画

人格と社会的信頼性があり、責任感もある出席義務の果せる、また寛容の有る方など基盤にすすめていきたいと思っております。

職業分類一覧表

(平成22年7月1日)

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
外 科 医	番 桂 柳	大和中央外科
脳 神 経 外 科 医		
内 科 医		
小 児 科 医	上 田 利 久	ウエダ小児科
産 婦 人 科 医		
眼 科 医		
歯 科 医		
獣 医	松 崎 正 実	つきみ野松崎動物病院
普 通 銀 行 業	岩 松 薫	(株)八千代銀行 大和支店
郵 便 事 業		
不 動 産 賃 貸	高 橋 政 勝	(有)高橋
損 害 保 険	北 砂 富 三	(株)オーシャニック
生 命 保 険	小 柳 智 裕	(有)FPブレイン
弁 護 士		
司 法 書 士		
社 会 保 険 労 務 士		
税 理 士	阿 萬 正 巳	阿萬正巳税理士事務所
経 営 コ ン サ ル タ ン ト		
工 業 薬 品 販 売		
紳 士 服 販 売		
家 具 販 売		
家 庭 用 電 気 器 具 販 売		
書 籍 販 売		
新 聞 販 売		
茶 販 売	梅 田 秀 雄	(株)渡辺園
酒 類 販 売		
コ ン ビ ニ エ ン ス ス ト ア ー		
ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	伊 藤 英 夫	(有)イトウ

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
中 華 料 理	石 川 健 次	(株)北京飯店
日 本 料 理		
フ レ ン チ レ ス ト ラ ン		
パ ン ・ ケ ー キ 製 造 販 売		
和 菓 子 製 造 販 売		
ホ テ ル 業		
ク リ ー ニ ン グ 業		
観 光 事 業		
自 転 車 販 売	長 野 俊 八	サイクルセンターナガノ
ビ ル 管 理	小 菅 実	大和産業(株)
自 動 車 販 売		
自 動 車 整 備		
ガ ソ リ ン ス タ ン ド		
印 刷 業		
機 械 部 品 製 造	後 藤 定 毅	フジ工業(株)
設 備 機 械 輸 出		
電 子 部 品 製 造		
宗 教 家	舘 盛 道 明	定方寺
画 家		
農 業	古 木 勝 治	古木農園
幼 稚 園		
学 習 塾		
運 送 業	古 郡 清	(有)緑運輸
物 流 代 行 業	神 作 彰	石井運輸(株)
不 動 産 管 理	山 崎 賢 二	(有)山崎事務所
不 動 産 取 引	飯 田 豊 太	(有)大和地所
貸 ビ ル 業		
貸 倉 庫	高 橋 清	(有)文が岡商事
〃	郡 司 守	(株)グンジ
インテリアコーディネーター		
建 築 設 計		
鉄 骨 建 築	藤 田 重 成	藤田商事(有)
土 木 業	寺 田 五 六	(株)寺田土木

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
木 造 建 築	藤 塚 勝 明	(有)藤塚工務店
住 宅 建 築		
綜 合 建 設 業	横 澤 創	ニッケン建設(株)
住 宅 設 備	岸 幸 博	岸木工(有)
建 具 製 造 販 売		
冷 暖 房 空 調 設 備		
ガ ス 機 器 エ ン ジ ニ ア		
水 道 工 事		
電 気 工 事		
建 築 材 料 販 売	中 西 功	(有)中西商店
通 信 ケ ー ブ ル 工 業		
内 装 材 料 販 売	青 柳 文 四 郎	(株)和光堂
ソ フ ト ウ ェ ア 開 発	辻 彰 彦	(株)システムステーション
通 信 設 計		
ネ ッ ト ワ ー ク 機 器 販 売	橋 本 日 吉	(株)東邦通信システムズ
制 御 機 器 設 計 ・ 製 作		
プ ラ ス チ ッ ク 加 工 業		
洋 楽 器 販 売	鈴 木 洋 子	(株)スズキピアノ商会
自 動 車 学 校	入 江 公 敏	大和自動車学校
葬 祭 業	梅 野 房 子	(株)林間葬祭
建 築 金 物 販 売	原 嶋 賢 一 郎	(株)大黒屋
葬 儀 貸 式 場 経 営	中 島 康 次 郎	(株)東京葬祭
生 花 小 売 業	北 島 照 介	(株)きたじま

充 填 職 業 39

未 充 填 職 業 44

≡≡≡ 会場監督（S A A） ≡≡≡

正 岸 幸 博
副 伊 藤 英 夫
小 柳 智 裕

○活動方針

会場監督として、例会を秩序正しく品位を以って運営し、来訪者及び来賓に良い印象を与え、会員が楽しく親睦を深められるよう、努力します。

○実施計画

- (1) 会長、幹事、各委員長との連携を密にし、スムーズな例会進行に務める。
- (2) 例会中は、禁煙とする。
- (3) 会員相互の親睦を図る目的で、定期的に席替えをする。

≡≡≡ 奉仕プロジェクト委員会 ≡≡≡

担当理事 梅田 秀雄
委 員 各委員会委員長
担当委員長

○活動方針

会長ターゲット 親睦は「明るく、楽しく」奉仕は「心豊か」の基本精神を基に、奉仕プロジェクト四委員会が連携して、今年度ガバナー輩出クラブに相応しい、地域に根ざした活動を行う。

≡≡≡ (イ)職業奉仕担当委員会 ≡≡≡

委員長 高橋 政勝
副委員長 橋本 日吉
委 員 北砂 富三

○活動方針

職業奉仕は会員個々の活動であり、他の奉仕委員会とは異なる奉仕活動であります。したがって、職業奉仕の倫理、道徳などを会員相互が研鑽をして実践していきたいと思えます。

職業奉仕の実践として（2010年地区協・笠原氏抜粋）

- 1、クラブの会合に積極的に参加（出席）し
- 2、交友を深め（親睦）
- 3、いろいろな職業の方（職業分類）と接し
- 4、それぞれの経験、アイデアを交換（卓話）し
- 5、あるいは実践道場を見学（職場訪問などで）し
- 6、得られた知識を業務に活用（実践）する

これらを実践することにより、社会の信用、信頼を深め品位を高め、社会に貢献することができる。

○実施計画

- (1) 会員による職業奉仕の実践卓話 3回
- (2) 企業見学

（ロ）社会奉仕担当委員会

委員長 横 澤 創
副委員長 伊 藤 英 夫
委 員 古 木 勝 治

○活動方針

奉仕委員長の統括の元、四委員会の連携で、新しいロータリーらしさのある奉仕プロジェクトを開発します。

○実施計画

会長ターゲットである、地域に根ざした奉仕プロジェクトの研究、及び、推進。

（ハ）国際奉仕担当委員会

委員長 梅 田 秀 雄
副委員長 橋 本 日 吉

○活動方針

奉仕プロジェクト、四委員会連携の下、国際間の理解と親善を深める。

特に姉妹クラブである東慶州RCとの交流を密にする中で、機会があれば互いに力を出し合い国際貢献したい。

○実施計画

- （１）奉仕プロジェクト四委員会が連携して活動する。
- （２）姉妹クラブ友好担当委員会との連携、協力
（大韓民国 東慶州RC）
- （３）新世代育成委員会との連携、協力
（米海軍厚木基地、シャーリーランナム小学校）
- （４）海外での災害発生の場合、速やかな援助を計る。

≡≡≡ (ニ) 姉妹クラブ友好担当 ≡≡≡

担当委員長 古 郡 清

○活動方針

国際奉仕委員会方針や活動計画のもと、東慶州RCとの交流や友好を密にするための活動をします。

≡≡≡ (ホ) 新世代育成担当委員会 ≡≡≡

委員長 小 柳 智 裕

副委員長 岸 幸 博

委 員 原 嶋 賢一郎

中 島 康次郎

○活動方針

地域に根ざした青少年の健全育成のための活動を中心に奉仕活動を行っていきます。

○実施計画

- (1) 今年度も従来より行なわれ実施効果の高い、「交通安全教室」を米海軍厚木基地内のシャーリーランナム小学校と市内の小学校との交流事業を実施する。
- (2) 奉仕プロジェクト四委員会とも連携して地域に根ざした統一事業・奉仕活動を行ない会員相互の親睦も深める。

ロータリー財団委員会

担当理事 郡 司 守
副委員長 後 藤 定 毅
委 員 藤 田 重 成

○活動方針

R Iのロータリー財団の運営が、2013～2014年度から変わります。「未来の夢計画」となります。計画目標は、

- (1) 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- (2) ロータリアンにとって関連性のある世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- (3) 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- (4) 意思決定をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- (5) ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

「未来の夢計画」には重点分野（世界の重点的ニーズ）があります。

- *平和と紛争予防／紛争解決
- *疾病予防と治療
- *水と衛生設備
- *母子の健康
- *基本的教育と識字率向上
- *経済と地域社会の発展

○実施計画

- (1) 以上を念願に卓話・協議会等々に於いて学んで行くことに致します。
- (2) 年次寄付の目標達成に努力。

(イ)米山奨学委員会

委員長 原 嶋 賢一郎
副委員長 梅 野 房 子
委 員 番 桂 柳
寺 田 五 六

○活動方針

米山奨学事業は、ロータリアンからの寄付金を財源とし、日本に在留している外国人学生に対して奨学金を支援し、将来彼らが国際社会で活躍する人材を育成することです。

実施計画

- (1) 米山奨学寄附金目標、一人20,000円をお願いする。
- (2) 全員寄付の参加を。

≡≡≡ クラブ広報委員会 ≡≡≡

担当理事 山 崎 賢 二
委 員 各委員会委員長
担 当 委 員

今年度R I会長は、ロータリアン以外の方々にもメッセージを発信しようとの思いのもと「地域を育み、大陸をつなぐ」とのテーマを掲げたそうです。そのような状況の中、広報の役割は年々大きくなっていることを実感しています。とはいえ、ロータリーを取り巻く環境は非常に厳しいものがあり、思ったことを即実行に移せる状況にないことも事実ではありますが、関係各委員会および市の広報やミニコミ紙等地域メディアのご協力を頂きながら可能な範囲でより効果的な広報を目指したいと思います。

≡≡≡ (イ)広報・雑誌委員会 ≡≡≡

委員長 古 郡 清
副委員長 飯 田 豊 太

○活動方針

ロータリーの友を購読することがロータリー会員の義務です。ロータリーを知る情報源として、会員にもっと読んでいただくように活動します。

○実施計画

会長方針の「心豊かな」ロータリー活動をするため、そしてロータリーへの関心を持っていただくためにロータリーの友の記事の内容を説明します。

(ロ) IT 担当

担当委員長 山 崎 賢 二

○活動方針

一昨年、昨年に引き続き IT 担当としてクラブ広報の一端を担うこととなりましたが、一昨年立ち上げたクラブのホームページの内容を一層充実させ、クラブ内外への情報発信に努めたいと思います。

○実施計画

- (1) 普段、クラブの会員がどの程度の割合でホームページを閲覧しているのかを調査し、一層の IT 活用を啓蒙する。
- (2) ホームページの内容を更に充実させるための調査・研究・実践を継続する。
- (3) 外部への情報発信をより充実させるため、地区 IT 担当および地区内各クラブ IT 担当との連携を模索する。

(ハ) ロータリー情報

担当委員長 高 橋 清

○活動方針

今年度の会長運営方針は「明るく、楽しい」例会を心掛け、「心豊かな」活動を実行することをテーマにもとづき会員が楽しみにする出席を実践し種々の活動への参加を呼びかけ、その中でロータリーの情報を伝達して参りたいと思い、真のロータリー活動の一翼を担って参ります。

○実施計画

- (1) ロータリーの例会に付きましてロータリーの情報をつぶさに会員に伝達してゆきます。
- (2) 新しい会員と在籍の長い会員とのコミュニケーションの場を設けてロータリーについての情報交換をしてゆきます。

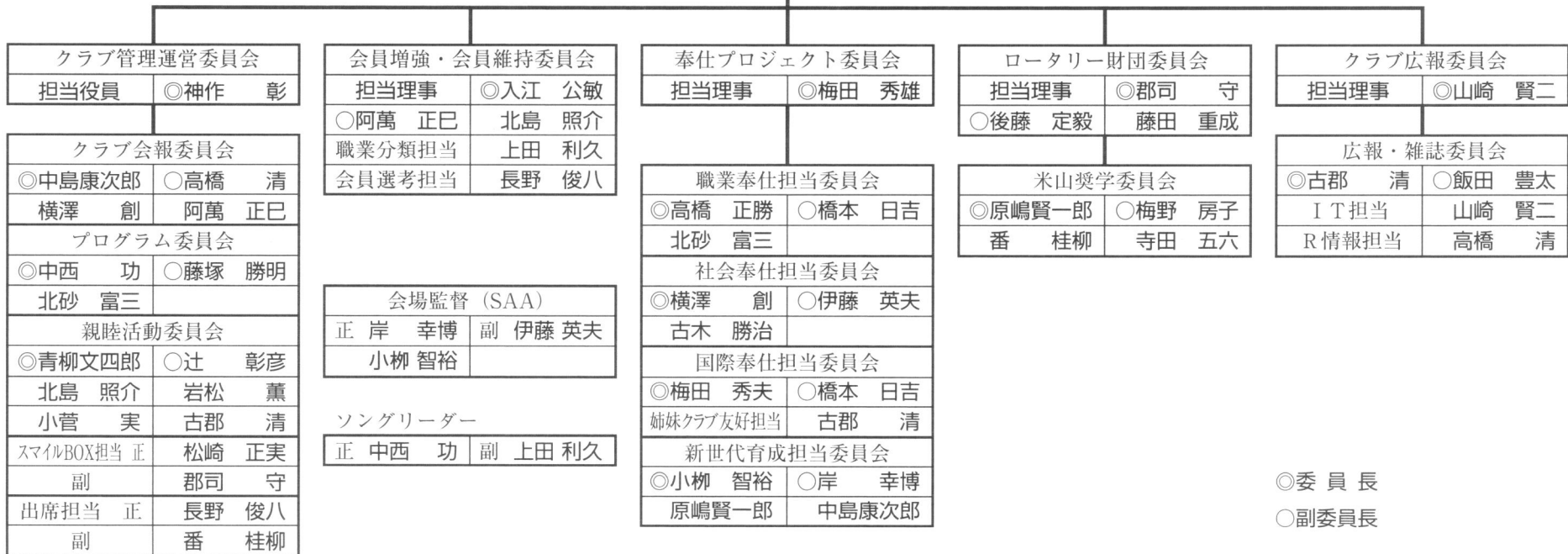
大和中ロータリークラブ委員会構成表

2010~11 ガバナー	後藤 定毅
地区幹事	藤塚 勝明
地区副幹事	石川 健次
地区資金委員長	古郡 清
地区会計	横澤 創
地区職業奉仕委員会	長野 俊八
地区国際奉仕委員会	松崎 正実
地区大会実行委員長	高橋 政勝
地区大会幹事	山崎 賢二

会 長	舘盛 道明	理事 会員増強・会員維持	入江 公敏
副 会 長	神作 彰	理事 奉仕プロジェクト	梅田 秀雄
会長エレクト	石川 健次	理事 ロータリー財団	郡司 守
幹 事	鈴木 洋子	理事 クラブ広報	山崎 賢二
会 計	飯田 豊太	理事 副 幹 事	橋本 日吉
会 場 監 督	岸 幸博	理事 直前会長	高橋 清

理 事 会
12名

会計監査	松崎 正実
会計監査	長野 俊八



◎委員長
○副委員長

会 員 名 簿 (アルファベット順)

(別表 (2))

分類	番号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名		役職名	TEL
			生年月日	年齢	郵便番号	事業所所在地		FAX
			入会年月日	年数	郵便番号	自宅住所		TEL
A	1	アオヤギ 青 柳 ブシロウ 文四郎	内装材料販売		(株)和光堂		取締役	275-0101
			昭 3.2.15	82	242-0006	大和市南林間1-15-11	Ⓔ	275-2592
			平 15.6.19	7	242-0013	大和市深見台4-6-11		263-2227
A	2	アマン 阿 萬 マサミ 正 巳	税理士		阿萬正巳税理士事務所		所長	261-4567
			昭 36.4.2	48	242-0021	大和市中心4-6-27	Ⓔ	261-4573
			平 21.4.9	1	252-0804	藤沢市湘南台5-3-8		0466-43-7982
B	3	バン 番 ケイリュウ 桂 柳	外科医		大和中央外科		院長	261-6509
			昭 6.3.31	79	242-0021	大和市中心5-2-7	Ⓔ	261-6509
			昭 60.4.18	25	242-0021	大和市中心5-2-7		261-6509
F	4	フジタ 藤 田 シゲナリ 重 成	鉄骨建築		藤田商事(有)		取締役	274-7066
			大 10.5.15	89	242-0006	大和市南林間1-5-15	Ⓔ	275-5294
			昭 53.6.23	32	242-0006	大和市南林間1-5-15		274-3931
	5	フジツカ 藤 塚 カツアキ 勝 明	木造建築		(有)藤塚工務店		代表取締役	263-7323
			昭 19.4.11	66	242-0017	大和市大和東1-9-20	Ⓔ	264-6943
			昭 61.10.16	23	242-0017	大和市大和東1-9-20		261-1740
	6	フルゴオリ 古 郡 キヨン 清	運送業		(有)緑運輸		代表取締役	261-5580
昭 18.3.19			67	242-0021	大和市中心7-16-15	Ⓔ	261-4572	
昭 60.2.28			25	242-0017	大和市大和東1-10-15		261-0327	
7	フルキ 古 木 カツハル 勝 治	農業		古木農園		代表	276-0801	
		昭 11.8.12	73	242-0002	大和市つきみ野3-3-13	Ⓔ	276-0288	
		昭 54.10.18	30	242-0002	大和市つきみ野3-3-11		274-7632	
G	8	ゴトウ 後 藤 サダキ 定 毅	機械部品製造		フジ工業(株)		代表取締役	251-6100
			昭 18.6.11	67	228-0004	座間市東原2-16-26	Ⓔ	229-3659
			昭 55.7.10	29	243-0023	厚木市戸田1086		228-2157
G	9	グンジ 郡 司 マモル 守	貸倉庫		(株)グンジ		代表取締役	045-641-7336
			昭 8.7.24	76	242-0012	大和市深見東1-4-31	Ⓔ	045-753-0750
			再昭63.12.8	21	235-0021	横浜市磯子区岡村1-19-30		045-753-0750
H	10	ハシモト 橋 本 ヒヨシ 日 吉	ネットワーク機器販売		(株)東邦通信システムズ		代表取締役	276-5828
			昭 25.5.15	60	242-0007	大和市中心林間1-10-7	Ⓔ	264-8585
			平 13.3.15	9	242-0002	大和市つきみ野1-6-3-606		277-0818
H	11	ハラシマ 原 嶋 ケンイチロウ 賢一郎	建築金物販売		(株)大黒屋		代表取締役	262-0106
			昭 25.7.2	59	242-0018	大和市深見西3-6-22	Ⓔ	263-6738
			平 18.4.20	4	242-0018	大和市深見西3-6-22		262-0106
I	12	イイダ 飯 田 トヨタ 豊 太	不動産取引		(有)大和地所		代表取締役	263-8880
			昭 18.7.2	66	242-0013	大和市深見台4-11-2	Ⓔ	263-3408
			昭 62.11.5	22	242-0013	大和市深見台4-11-2		263-3408
	13	イシカワ 石 川 ケンジ 健 次	中華料理		(株)北京飯店		代表取締役	261-7160
			昭 28.2.2	57	242-0021	大和市中心2-4-18	Ⓔ	261-0127
			平 1.8.3	21	242-0021	大和市中心2-9-11		263-7470
14	イトウ 伊 藤 ヒデオ 英 夫	スーパーマーケット		(有)イトウ		代表取締役	263-3000	
		昭 13.3.18	72	242-0005	大和市西鶴間4-7-5	Ⓔ	263-5100	
		昭 53.6.23	32	242-0005	大和市西鶴間4-7-5		263-5100	

分類	番号	(フリガナ) 氏名	職業分類		事業所名		役職名	TEL
			生年月日	年齢	郵便番号	事業所所在地		FAX
			入会年月日	年数	郵便番号	自宅住所		TEL
I	15	イリエキミトシ 入江公敏	自動車学校		大和自動車学校		常務取締役	262-1212
			昭 30.2.14	54	242-0018	大和市深見西4-3-29	Ⓔ	261-9911
			平 17.10.13	4	253-0024	茅ヶ崎市平和町2-10		0467-87-8721
I	16	イワマツカオル 岩松薫	普通銀行		八千代銀行 大和支店		支店長	261-2241
			昭 28.12.1	56	242-0016	大和市大和南1-4-4	Ⓔ	264-0612
			平 22.4.22	0	183-0045	東京都府中市美好町3-39-11-102		042-364-8627
K	17	カミサクアキラ 神作彰	物流代行業		石井運輸(株)		代表取締役	277-5656
			昭 19.3.6	66	242-0007	大和市中心林間1-5-6	Ⓔ	277-5711
			昭 58.3.3	27	242-0007	大和市中心林間1-5-6		277-5656
	18	キシユキヒロ 岸幸博	住宅設備		岸木工(有)		代表取締役	261-4537
			昭 24.12.5	60	242-0017	大和市大和東3-2-13	Ⓔ	264-7476
			平 5.3.4	17	242-0017	大和市大和東3-2-13		261-4537
	19	キタサゴトミゾウ 北砂富三	損害保険		(株)オーシャニック		代表取締役	042-746-1810
			昭 7.7.20	77	228-0814	相模原市南台3-18-1 トミービル	Ⓔ	042-748-9069
			昭 53.6.23	32	242-0006	大和市南林間5-2-16		274-1230
	20	キタジマテルユキ 北島照介	生花小売業		(株)きたじま 北島生花店			275-7893
			昭 29.1.12	56	242-0002	大和市つきみ野3-25-2	Ⓔ	275-8718
			平 19.11.1	2	242-0002	大和市つきみ野3-10-3		274-5988
21	コスゲミノル 小菅実	不動産管理 テニスクラブ運営		大和産業(株)		代表取締役	263-8080	
		昭 32.9.23	51	242-0021	大和市中央5-14-5	Ⓔ	263-8080	
		平 21.9.3	0	242-0021	大和市中央5-17-8		264-8866	
22	コヤナギトモヒロ 小柳智裕	生命保険		(有)F Pブレイン		代表	271-1212	
		昭 34.10.4	50	242-0007	大和市中心林間3-5-15-202	Ⓔ	276-1718	
		平 14.3.7	8	242-0005	大和市西鶴間5-1-25-210		262-5474	
M	マツザキマサミ 松崎正実	獣医		つきみ野松崎動物病院		院長	275-4556	
		昭 25.1.4	60	242-0002	大和市つきみ野4-11-14	Ⓔ	275-4552	
		昭 56.12.3	28	242-0002	大和市つきみ野4-11-14		275-4556	
N	ナカジマヤスジロウ 中島康次郎	セレモニーホール 葬儀貸式場		(株)東京葬祭 大和式礼		所長	264-4111	
		昭 25.5.22	60	242-0017	大和市大和東2-9-13	Ⓔ	264-3896	
		平 18.10.26	3	120-0005	東京都足立区綾瀬2-1-19		03-3838-3320	
	25	ナガノシュンタ 長野俊八	自転車販売		サイクルセンターナガノ		代表	274-4439
			昭 9.1.21	76	242-0006	大和市南林間1-19-11	Ⓔ	275-1039
			昭 57.9.9	27	242-0006	大和市南林間1-19-11		274-4439
26	ナカニシイサオ 中西功	建築材料販売		(有)中西商店		代表取締役	274-4655	
		昭 20.2.7	65	242-0004	大和市鶴間2-14-5	Ⓔ	274-4490	
		昭 53.8.17	31	242-0004	大和市鶴間2-14-5		274-9765	
S	スズキヒロコ 鈴木洋子	洋楽器販売		(株)スズキピアノ商会		代表取締役	262-6683	
		昭 21.4.20	64	242-0017	大和市大和東2-8-7-303	Ⓔ	262-9090	
		平 16.1.8	6	242-0017	大和市大和東2-8-7-303		262-6683	
T	タカハシキヨシ 高橋清	貸倉庫		(有)文が岡商事		代表取締役	261-5775	
		昭 16.2.12	69	242-0028	大和市桜森3-15-6	Ⓔ	261-5790	
		昭 62.7.23	22	242-0028	大和市桜森3-15-6		261-5775	
	29	タカハシマサカツ 高橋政勝	不動産賃貸		(有)高橋		代表取締役	261-7685
			昭 12.8.4	72	242-0029	大和市上草柳4-6-4	Ⓔ	261-8736
			昭 55.10.30	29	242-0029	大和市上草柳4-6-4		261-7685

分類	番号	(フリガナ) 氏名	職業分類		事業所名		役職名	TEL	
			生年月日	年齢	郵便番号	事業所所在地			FAX
			入会年月日	年数	郵便番号	自宅住所			
T	30	タテモリ ミチアキ 館 盛 道 明	宗教		宗教法人曹洞宗定方寺		代表役員住職	274-0421	
			昭 21.8.30	63	242-0001	大和市下鶴間145	ⓕ	272-0757	
			平 10.12.3	11	242-0001	大和市下鶴間145		274-0421	
	31	ツジ アキヒコ 辻 彰 彦	ソフトウェア開発		(株)システムステーション		代表取締役	045-662-5811	
			昭 35.9.18	50	231-0023	横浜市中区山下町74-1	ⓕ	045-662-5821	
			平 22.4.1	0	248-0025	鎌倉市七里ガ浜東2-28-13		0467-31-5203	
	32	テラダ ゴロク 寺 田 五 六	土木業		(株)寺田土木		代表取締役	261-1294	
			大 10.6.14	89	242-0029	大和市上草柳7-8-3	ⓕ	264-1426	
			再平13.9.13	8	242-0006	大和市西鶴間4-12-11		261-1297	
U	33	ウエダ トシヒサ 上 田 利 久	小児科医		ウエダ小児科		院長	274-6240	
			昭 4.1.23	81	242-0003	大和市林間2-17-6	ⓕ	274-6240	
			昭 53.6.23	32	242-0003	大和市林間2-17-6		275-1540	
	34	ウメダ ヒデオ 梅 田 秀 雄	茶販売		(株)渡辺園		代表取締役	261-3744	
			昭 19.1.19	66	242-0017	大和市大和東1-6-6	ⓕ	263-2013	
			昭 62.4.9	23	242-0011	大和市深見2244-1		262-6610	
	35	ウメノ フサコ 梅 野 房 子	葬祭業		(株)林間葬祭		代表取締役	265-2304/265-4000	
			昭 13.11.9	70	本店 242-0007 大和市中央林間3-19-1 大和店 242-0028 大和市上草柳2-17-15		ⓕ	264-1600	
			平 17.11.10	4	242-0029	大和市上草柳2-17-15		265-0127	
Y	36	ヤマザキ ケンジ 山 崎 賢 二	不動産管理		(有)山崎事務所		代表取締役	263-0328	
			昭 21.12.18	63	242-0017	大和市大和東1-9-9	ⓕ	264-0328	
			平 6.1.6	16	242-0017	大和市大和東1-9-9		263-0328	
	37	ヨコザワ ハジメ 横 澤 創	総合建設業		ニッケン建設(株)		代表取締役	045-432-3264	
			昭 25.3.5	60	222-0032	横浜市港北区大豆戸町353	ⓕ	045-432-3290	
			平 3.6.13	19	242-0014	大和市上和田3444-4		269-5399	

歴代会務分担表

□=役員・理事 エレクト=会長エレクト 職業=職業奉仕 社会=社会奉仕 国際=国際奉仕 新世=新世代奉仕(青少年) クラブ=クラブ奉仕 会報=クラブ会報
親睦=親睦活動 プログ=プログラム スマイル=スマイルボックス 組織=組織部門 選考=会員選考 増強=会員増強 分類=職業分類 情報=ローター情報 環境=環境保全
財団=ローター財団 米山=米山奨学 姉妹=姉妹クラブ友好 ポリオ=ポリオプラス 職情=職業情報 世界=世界親睦理解 監査=会計監査 ☆=地区委員

◎委員長 ○副委員長 △委員

Table with columns for member names and birth dates (e.g., 藤田重成 S53年6月23日) and rows for years from 78~79 to 10~11. Each cell contains a symbol and text indicating the member's role in various committees and activities.

退 会 者 名 簿

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
1	坪 井 源二郎 君		S 53. 5. 18	
2	淡 谷 光 彦 君	S 53. 6. 23	S 53. 12. 21	
3	蜂 屋 良 平 君	S 53. 6. 23	S 58. 7. 14	
4	猪 熊 唯 夫 君	S 53. 6. 23	H 5. 9. 25	○
5	亀 谷 志 郎 君	S 53. 6. 23	H 2. 5. 10	
6	小 菅 兼三郎 君	S 53. 6. 23	S 54. 3. 15	
7	宮之原 寛 一 君	S 53. 6. 23	S 54. 6. 28	
8	小笠原 一 四 君	S 53. 6. 23	S 54. 1. 11	
9	大 高 安 男 君	S 53. 6. 23	S 59. 12. 20	
10	佐 藤 実 君	S 53. 6. 23	S 57. 6. 24	
11	須 藤 正 道 君	S 53. 6. 23	S 54. 5. 17	
12	寺 田 伍 六 君	S 53. 6. 23	H 11. 12. 18	
13	郡 司 守 君	S 53. 6. 23	S 58. 4. 21	
14	富 澤 重 徳 君	S 53. 6. 23	H 9. 12. 20	
15	矢 野 久 元 君	S 53. 6. 23	S 54. 1. 23	○
16	長谷川 清 一 君	S 53. 6. 23	H 15. 2. 6	○
17	土 屋 翁 三 君	S 53. 6. 23	H 13. 7. 5	
18	芦 田 敬 治 君	S 53. 6. 23	H 15. 10. 9	○
19	辻 國 明 君	S 53. 7. 27	H 14. 7. 22	○
20	袴 田 和 雄 君	S 53. 8. 10	S 54. 10. 4	
21	近 藤 富士男 君	S 53. 12. 14	H 14. 9. 2	○
22	石 渡 英二郎 君	S 54. 1. 18	H 10. 5. 21	
23	木 崎 健 祐 君	S 54. 2. 22	S 55. 9. 11	
24	有 澤 昭 二 君	S 54. 3. 22	H 12. 6. 30	
25	山 田 旭 君	S 54. 4. 5	S 57. 6. 30	
26	保 田 達 君	S 54. 4. 12	S 57. 7. 29	
27	竹之内 弘 美 君	S 54. 4. 12	S 59. 11. 1	
28	伊 藤 正 男 君	S 54. 5. 10	S 58. 6. 30	
29	布 施 光 雄 君	S 54. 5. 10	H 7. 6. 26	
30	高 山 正 雄 君	S 54. 10. 25	S 55. 10. 9	
31	竹 山 健 一 君	S 54. 12. 6	S 57. 7. 24	
32	松 本 三 郎 君	S 55. 7. 31	H 5. 6. 30	
33	伊 藤 宣 男 君	S 55. 9. 11	S 60. 12. 5	

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
34	合 田 良 徳 君	S 55. 10. 2	S 59. 3. 15	
35	細 野 順 造 君	S 55. 10. 2	S 61. 6. 26	
36	二 見 長 幸 君	S 55. 10. 30	H 8. 6. 27	
37	国 方 隆 君	S 55. 11. 6	S 57. 5. 13	
38	池 田 武 和 君	S 55. 12. 18	S 58. 6. 30	
39	山 中 忠 誠 君	S 55. 12. 18	S 58. 12. 16	
40	三 浦 泰 之 君	S 56. 4. 9	S 62. 5. 28	
41	古田土 勝 美 君	S 56. 6. 18	H 9. 6. 26	
42	福 本 国 雄 君	S 56. 11. 19	S 59. 2. 16	
43	杉 山 元次郎 君	S 57. 6. 24	S 59. 2. 23	
44	上 田 勝 君	S 57. 6. 24	S 59. 6. 28	
45	上 村 幹 雄 君	S 57. 7. 15	H 12. 11. 16	○
46	三 国 誠 文 君	S 57. 7. 15	S 57. 10. 14	
47	古 川 巖 君	S 57. 8. 26	H 7. 5. 18	
48	菊 池 康 公 君	S 57. 8. 26	H 16. 4. 15	
49	原 田 穆 君	S 57. 11. 18	H 2. 9. 27	
50	小 島 健 一 君	S 57. 11. 18	H 7. 5. 11	
51	金 井 大 輔 君	S 58. 3. 31	S 62. 12. 3	
52	種ヶ島 実 君	S 58. 4. 7	S 59. 8. 13	○
53	南 川 忠 常 君	S 58. 6. 9	S 60. 4. 4	
54	青 木 豊 治 君	S 58. 12. 15	S 59. 5. 14	
55	岡 本 重 之 君	S 59. 1. 5	S 61. 6. 26	
56	清 水 洋 三 君	S 59. 3. 29	H 4. 6. 30	
57	三 浦 泰 之 君	S 59. 7. 12	S 62. 5. 28	
58	木 村 誠 二 君	S 59. 9. 6	H 11. 12. 18	
59	児 玉 清 君	S 59. 9. 6	H 10. 5. 7	
60	染 谷 信 行 君	S 59. 9. 6	S 61. 1. 16	
61	小 林 勇 君	S 59. 9. 6	H 15. 12. 31	
62	大 西 昭 君	S 60. 2. 28	S 61. 6. 26	
63	岩 田 一 夫 君	S 60. 3. 7	H 5. 6. 30	
64	竹 本 正 俊 君	S 60. 3. 7	S 60. 10. 16	
65	渡 辺 吉三郎 君	S 60. 3. 7	S 60. 12. 5	
66	加 藤 好 秋 君	S 60. 4. 18	H 1. 4. 20	
67	藤 沢 孝 行 君	S 60. 6. 6	S 60. 8. 22	
68	熊 倉 光 男 君	S 60. 7. 4	S 63. 3. 10	

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
69	飯 島 順一郎 君	S 60. 10. 24	S 62. 4. 9	
70	千 田 徹 君	S 61. 10. 9	H 1. 9. 7	
71	栗 原 宣 明 君	S 62. 6. 18	H 1. 3. 2	
72	茅 根 勉 君	S 62. 8. 13	H 4. 6. 25	
73	本 田 博 司 君	S 62. 7. 9	H 13. 11. 30	
74	吉 岡 恒 夫 君	S 62. 10. 29	H 4. 7. 16	
75	佐 藤 正 勝 君	S 63. 3. 17	H 4. 4. 30	
76	千 葉 庄 平 君	S 63. 4. 7	H 2. 6. 7	
77	大 門 宏 光 君	S 63. 4. 7	H 2. 12. 13	
78	中 田 洲 平 君	S 63. 4. 7	S 63. 5. 19	
79	渡 井 和 郎 君	S 63. 4. 7	S 63. 10. 20	
80	佐 藤 公 男 君	S 63. 4. 21	H 3. 3. 14	
81	加 藤 真 義 君	H 1. 2. 23	H 11. 7. 22	
82	立 岡 英 一 君	H 1. 5. 11	H 2. 6. 28	
83	村 野 安 範 君	H 1. 5. 11	H 3. 6. 27	
84	柿 本 伊佐男 君	H 1. 9. 14	H 13. 6. 30	
85	薩 田 信次郎 君	H 1. 11. 9	H 14. 12. 31	
86	松 本 二 郎 君	H 1. 12. 14	H 2. 6. 28	
87	蒲 生 文 衛 君	H 2. 5. 10	H 16. 6. 30	
88	竹 原 繁 男 君	H 2. 6. 14	H 14. 6. 30	
89	星 輝 明 君	H 3. 6. 20	H 5. 6. 18	
90	中 島 繁 男 君	H 3. 9. 26	H 6. 6. 9	
91	迫 田 洋一郎 君	H 3. 12. 19	H 10. 6. 25	
92	山 下 精 一 君	H 3. 12. 19	H 6. 12. 29	
93	依 田 儀 一 君	H 4. 11. 12	H 17. 6. 30	
94	山 口 敏 彦 君	H 5. 6. 24	H 9. 6. 12	
95	望 月 英 男 君	H 5. 6. 24	H 8. 5. 28	
96	中 村 彰 君	H 6. 5. 12	H 11. 7. 22	
97	小 野 孝 男 君	H 7. 2. 9	H 13. 6. 30	
98	中 稻 隆 次 君	H 7. 5. 25	H 10. 6. 25	
99	牧 野 弘 君	H 7. 6. 15	H 14. 6. 30	
100	目 黒 雄 介 君	H 8. 3. 7	H 16. 6. 30	
101	佐 藤 伴 道 君	H 8. 3. 21	H 10. 3. 12	
102	菅 井 正 博 君	H 8. 5. 2	H 10. 4. 9	
103	佐々木 万次郎 君	H 8. 7. 18	H 11. 12. 18	

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
104	村 松 令 隆 君	H 9. 2. 20	H 14. 11. 11	
105	阿 部 豪 一 君	H 9. 4. 3	H 13. 12. 27	
106	岡 部 明 君	H 10. 6. 11	H 13. 12. 27	
107	清 水 登米彦 君	H 10. 7. 2	H 11. 3. 30	
108	小 倉 弘 君	H 12. 5. 17	H 14. 3. 31	
109	高 橋 潔 君	H 13. 3. 8	H 16. 6. 30	
110	水 落 悟 君	H 14. 10. 3	H 16. 7. 29	
111	間 山 進 也 君	H 14. 11. 7	H 16. 6. 30	
112	疋 田 哲 夫 君	H 14. 4. 25	H 17. 10. 13	
113	長谷川 清 君	H 9. 8. 28	H 17. 10. 31	
114	鈴 木 博 士 君	H 11. 5. 6	H 17. 12. 31	
115	鈴 木 久次郎 君	S 53. 12. 7	H 18. 6. 30	
116	橋 本 健 彦 君	S 56. 7. 16	H 18. 6. 30	
117	村 松 令 隆 君	H 17. 4. 14(再)	H 18. 10. 31	
118	工 藤 俊 治 君	H 14. 3. 7	H 18. 7. 1	
119	椋 茂 廣 君	H 1. 7. 13	H 18. 12. 31	
120	澤 登 次 郎 君	H 17. 11. 10	H 19. 9. 30	
121	蒔 田 誠三郎 君	H 7. 9. 7	H 20. 6. 30	
122	桑 原 治 夫 君	H 18. 7. 13	H 20. 6. 30	
123	茂 木 諄 三 君	S 18. 2. 18	H 21. 4. 30	○
124	松 本 忠 明 君	S 53. 6. 23	H 21. 5. 14	
125	石 田 忠 良 君	S 62. 4. 23	H 21. 12. 31	
126	前 原 一 男 君	S 58. 5. 12	H 22. 3. 31	
127	鎌 田 稔 君	H 19. 11. 8	H 22. 4. 1	
128	佐 藤 信 夫 君	H 12. 5. 25	H 22. 3. 31	
129	塙 満 子 君	H 13. 9. 7	H 22. 6. 30	

ク ラ ブ 運 営 規 程 集

大和中ロータリークラブ定款
大和中ロータリークラブ細則
大和中ロータリークラブ内規

大和中ロータリークラブ

2010年7月1日現在

大和中ロータリークラブ定款

第1条 定義

本条の語句は、本定款で使われる場合、他に明確に規定されない限り、次の意味をもつものとする。

1. 理事会：本クラブの理事
2. 細 則：本クラブの細則
3. 理 事：本クラブの理事会メンバー
4. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
5. R I：国際ロータリー
6. 年 度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 名称

本会の名称は、大和中ロータリークラブとする。(国際ロータリー加盟会員)

第3条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りとする：大和市

《但し第4条綱領以下は、「標準ロータリークラブ定款」によるものとする。》
(2008年版手続要覧)

附 則

1. 本定款は、昭和53年5月9日から適用する。
2. 本定款は、平成20年7月1日更新

大和中ロータリークラブ細則

第1条 定義

1. 理事会：本クラブの理事会
2. 理事：本クラブの理事会メンバー
3. 会員：名誉会員以外の本クラブ会員
4. R I：国際ロータリー
5. 年度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 理事会

本クラブの管理主体は本クラブの会員12名により成る理事会とする。すなわち会長、副会長、会長エレクト（または、後任者が選挙されていない場合は会長ノミニー）、幹事、会計、会場監督である。本細則第3条第1節に基づいて選挙された5名の理事、および直前会長を加えることができる

第3条 理事および役員等の選挙

第1節 役員・理事及び会計監査を選挙すべき会合の1カ月前の例会において、
その議長たる役員は会員に対して、会長（次々年度）、副会長、幹事、会計、および5名の理事と会計監査を指名することを求めなければならない。その指名は、クラブの決定するところに従って指名委員会または出席全会員のいずれか一方または双方によって行うことができる。もし指名委員会を設けるように決定されたならば、かかる委員会はクラブの定めるところに従って設置されなければならない。適法に行われた指名は各役職ごとにアルファベット順に投票用紙に記載されて年次総会において投票に付せられるものとする。投票の過半数を獲得した会長、副会長、幹事、会計及び会計監査がそれぞれ該当する役職に当選したものと宣言されるものとする。投票の過半数を得た5名の理事候補が理事に当選したものと宣言されるものとする。前記の投票によって選挙された会長候補は、会長ノミニーとなるものとし、その選挙の後の次の7月1日に始まる年度に、会長ノミニーのまま理事会のメンバーを務め、理事会のメンバーを務めた年度直後の7月1日に、会長に就任するものとする。会長ノミニーは、会長として就任する前の年度の7月1日に、会長エレクトの役職名が与えられるもの

とする。

第2節 選挙された役員および理事に、直前会長を加えて理事会を構成するものとする。選挙によって決定した次年度理事会は、1週間以内に会合してクラブ会員の中から会場監督を務める者を選任しなければならない。

第3節 理事会またはその他の役職に生じた欠員は、残りの理事の決定によって補填すべきものとする。

第4節 役員エレクト（会長エレクト及び会長ノミネーを除く）または理事エレクトの地位に生じた欠員は、残りの理事エレクトの決定によって補填すべきものとする。

第4条 役員の任務

第1節 会長。本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節 会長エレクト。理事会のメンバーとしての任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うことをもって会長エレクトの任務とする。

第3節 副会長。クラブ管理運営委員会の委員長を務めると共に、会長不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第4節 幹事。幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録をつくってこれを保管し、全会員の人頭分担金および半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員の比例人頭分担金を記載した毎年1月1日および7月1日現在の半期会員報告、会員資格変更報告、毎月の最終例会の後15日以内に地区ガバナーに対して行わなければならない月次出席報告を含む、諸種の義務報告をRIに対して行い、RI公式雑誌の購読料を徴収してこれをRIに送金し、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって幹事の任務とする。

第5節 会計。すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会計の任務とする。その職を去るに当たっては、会計はその保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第6節 会場監督。通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うことをもって会場監督の任務はとする。

第7節 副幹事。副幹事は会長エレクトを補佐し、幹事不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合に置いて代理を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副幹事の任務とする。

第5条 会合

第1節 年次総会。本クラブの年次総会は毎年12月第1週の例会に開催されるものとする。そしてこの年次総会において次年度の役員および理事の選挙を行わなければならない。

第2節 本クラブの毎週の例会は木曜日12時30分に開催するものとする。例会に関するあらゆる変更または例会の取消はすべてクラブの会員全部に然るべく通告されなければならない。本クラブの瑕疵なき会員はすべて、名誉会員（または標準ロータリー・クラブ定款に基づき、出席を免除された会員）を除き、例会の当日、その出席または欠席が記録され、その出席は、本クラブまたは他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセントに出席していたことが実証されるか、もしくは標準ロータリー・クラブ定款第9条第1節と第2節の規定によるものでなければならない。

第3節 会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする。

第4節 定例理事会は毎月当該年度の決定により定められた例会後に開催されるものとする。臨時理事会は会長がその必要ありと認めたとき、または2名の理事からの要求があるとき、会長によって招集されるものとする。但しその場合然るべき予告が行われなければならない。

第5節 理事会の過半数をもって理事会の定足数とする。議事の決議が同数のときは議長の決するところによる。

第6条 入会金および会費

第1節 入会金は100,000円とし、入会承認に先んじ納入すべきものとする。但し、標準ロータリークラブ定款第11条に該当する場合はこの限りではない。

第2節 会費は年額250,000円とし、各半年ごとの各支払額のうちの一部は各会員のRI公式雑誌の購読料に充当するという了解の下に、毎年2回7月1日および1月1日に納入すべきものとする。

第3節 途中入会の会費については月割りとし、退会の場合は返還をしないものとする。

また、会費納入に関し特別な事情が生じた場合には、理事会において決定するものとする。

第7条 採決の方法

本クラブの議事は、役員および理事を投票によって選挙する場合を除き、口頭による採決をもって処理されるものとする。理事会は、特定の決議案を、口頭ではなく投票により処理することを決定することができる。

第8条 四大奉仕部門

四大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの活動のための理念と実践の枠組みである。それはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、および国際奉仕である。本クラブは、四大奉仕部門の各部門に積極的に取り組むこととする。

第9条 委員会

クラブ委員会は、四大奉仕部門に基づいた年次目標および長期目標を推進する責務を担う。会長エレクト、会長および直前会長は、指導の継続と計画の一貫性を図るよう協力すべきである。継続性を保持するため、可能であれば、委員会委員が同じ委員会を3年間務めるよう任命すべきである。会長エレクトは任期が始まる前に、委員会の空席を補填するために委員を任命し、委員会委員長を任命し、企画会議を設ける責務がある。委員長は同委員会の委員としての経験を有していることが推奨される。常任委員会は次の通り任命されるものとする。

- ・クラブ管理運営委員会

この委員会はクラブの効果的な運営に関連する活動を実施するものである。

- ・会員増強委員会

この委員会は、会員の勧誘と退会防止に関する包括的な計画を立て、実施するものである。

- ・奉仕プロジェクト委員会

この委員会は、地元地域社会および他国の地域社会におけるニーズに応える教育的、人道的、および職業関係のプロジェクトを立案し、実施するものである。

- ・ロータリー財団委員会

この委員会は、寄付とプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する計画を立て、実施するものである。

- ・クラブ広報委員会

この委員会は、一般の人々にロータリーについての情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を広報する計画を立て、この計画を実施するものである。

その他、必要に応じて特別委員会（アドホック）を設けることができる。

特別委員会は下記の通りである。

- ①クラブ管理運営委員会の特別委員会として会報・プログラム・親睦活動の各委員会を設置する。
- ②奉仕プロジェクト委員会の特別委員会として職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代育成の各委員会を設置する。
- ③ロータリー財団委員会の特別委員会として米山奨学委員会を設置する。
- ④クラブ広報委員会の特別委員会として広報・雑誌委員会を設置する。
 - (a)会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典をもつものとする。
 - (b)各委員会は本細則によって付託された職務および会長または理事会が付託する事項を処理すべきものとする。理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、これらの委員会は、理事会に報告してその承認を得るまでは行動してはならない。
 - (c)それぞれの委員長はその委員会の定例会合と活動に対して責任をもち、委員会の全活動について理事会に報告するものとする。

第10条 委員会の任務

会長は、自らの就任年度の諸委員会の任務を定め、見直すものとする。各委員会の任務を発表するにあたり、会長は適切なRI文書を参照するものとする。奉仕プロジェクト委員会はその年度計画を立てるにあたり、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕及び新世代育成の部門を考慮に入れることとする。

各委員会は、毎年度の初めに設定された具体的な担当職務、明確な目標、行動計画の下に、年度中その実施に当たるものとする。会長エレクトは上述の通り、ロータリー年度の開始に先立ち、クラブ委員会のための推奨事項、担当職務、目標、計画を理事会に提示すべく準備するために、必要な指導を行うという主要な責務がある。

第11条 出席義務規定の免除

理事会に対して書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、会員は出席義務規定の免除が与えられ、一定期間を限り本クラブの例会出席を免除される。

第12条 財務

- 第1節 各会計年度の開始に先立ち、理事会はその年度の収支の予算を作成しなければならない。その予算は、これらの費目に対する支出の限度となるものとする。但し、理事会の議決によって別段の指示がなされた場合はこの限りでない。予算は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営に関する予算と、慈善・奉仕活動運営に関する予算である。
- 第2節 会計は本クラブの資金をすべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。クラブ資金は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営と奉仕プロジェクトに関する資金である。
- 第3節 すべての勘定書は、会計、もしくは権限をもつ役員によって支払われるものとする。ただし、これは他の2名の役員または理事が承認した場合のみとする。
- 第4節 すべての資金業務処理は、毎年1回会計監査によって全面的な検査が行われるものとする。
- 第5節 資金を預りあるいはこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管に務めなければならない。
- 第6節 本クラブの会計年度は7月1日より6月30日に到る期間とし、会費徴収の目的のために、これを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の二半期に分けるものとする。人頭分担金とRI公式雑誌購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるものとする。

第13条 会員選挙の方法

- 第1節 本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。移籍する会員または他クラブに属していた元クラブ会員は、元クラブによって正会員に推薦されてもよい。この推薦は、本条に別な定めのある場合を除き、漏らしてはならない。
- 第2節 理事会は、その被推薦者が標準ロータリー・クラブ定款の職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを確認するものとする。
- 第3節 理事会は、推薦状の提出後30日以内にその承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通告しなければならない。
- 第4節 理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。この説明

の後、被推薦者に対し、会員申込用紙に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて承諾を求めなければならない。

第5節 被推薦者についての発表後7日以内に、理事会がクラブ会員（名誉会員を除く）の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てを受理しなかった場合は、その人は、名誉会員でないなら、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会会合において、この件について票決を行うものとする。異議の申し立てがあったにもかかわらず、入会が承認された場合は、被推薦者は、名誉会員でないなら、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第6節 このような選挙後に、クラブ会長は、当該会員の入会式を行い、クラブ幹事は当該会員に対して会員証を発行し、ロータリー情報資料を提供するものとする。その他、会長もしくは幹事が新会員に関する情報をRIに報告し、会長が、当該新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を1名指名し、同新会員をクラブ・プロジェクトまたは役目に配属する。

第7節 クラブは、標準ロータリー・クラブ定款に従い、理事会により推薦された名誉会員を選ぶことができる。

第14条 決議

クラブは、理事会によって審議される前に、本クラブを拘束するいかなる決議または提案を審議してはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第15条 議事の順序

開会宣言

来訪者の紹介

来信、告示事項およびロータリー情報

委員会報告（もしあれば）

審議未終了議事

新規議事

スピーチその他のプログラム

閉会

第16条 改正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。但し、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に郵送されていなければならない。標準ロータリー・クラブ定款およびRIの定款、細則と背馳するとき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

当クラブの運営を円滑にするため本内規を設ける

大和中ロータリークラブ 内規

当クラブの運営を円滑にするため本内規を設ける

第1項 役員・理事及び会計監査の選挙

- (1)大和中ロータリークラブ細則（以下細則という）第3条の役員、理事及び会計監査の選挙に当たっては、会長は毎年11月の第1例会において、役員、理事及び会計監査候補者を設置することを会員に告知し、これを招集し議長を務めるものとする。
- (2)指名委員会は直前会長よりさかのぼり5名のパスト会長及び会長、会長ノミネー、幹事、副幹事の9名をもって構成されるものとする。定足数は過半数とし、また選出の方法は合議制として意見の一致しない場合は無記名多数決投票制とする。会長（次々年度）、及び副会長候補者は役員及び理事の経歴を有する者の中から選出し、その他の役員、理事及び会計監査候補者は、指名の時点で2年以上のロータリー歴を有する者の中から選出する。
- (3)指名委員会は選出を終えた役員、理事及び会計監査候補者を、毎年11月の最終例会において公表する。また任務を終えた指名委員会は解散する。
但し、クラブ細則第3条第4節により必要な場合は再度設置する。
- (4)指名委員会は役員及び理事候補者の選出に当たり、次の事項に留意するものとする。
 - (イ) 人事の公平と負担の平等を図るため、役員及び理事の任期は継続して3年以上に亘らないよう配慮する。
 - (ロ) 初めに会長（次々年度）候補者を選出し、副幹事の選出に当たっては、会長（次々年度）候補者の意見を尊重する。
- (5)会長エレクトは、細則第3条第2節の会場監督選出後の最初の例会において、選挙で当選した役員、理事、会計監査のそれぞれの担当役職を、会員に公表するものとする。
- (6)細則第3条第2節の会場監督の選出に当たっては、内規第1項（4）（イ）の指名委員会の留意事項を準用するとともに、候補者には会長または幹事の経験者が望ましい。

第2項 委員会等の構成

次期理事会は、次年度の開始される3ヶ月前までに各委員会の構成を終了させ、ソングリーダーの選出も図るものとする。

第3項 任務代行の順序

例会等、クラブの運営上で担当者が欠席または不都合により任務の遂行が出来ない場合、原則として副委員長、委員の順序、それも不可能な場合直前年度の担当者から順次さかのぼる順序で代行者を定めるものとする。

第4項 クラブ協議会の出席

本クラブにおけるクラブ協議会は、委員長のみにとどまらず原則として会員全員が出席するものとする。

第5項 新会員の所属委員会及び会合出席義務

新会員の所属する委員会は理事会で決定する。新会員は各委員会が開く会合及び勉強会に積極的に出席することとする。

第6項 諮問委員会

- (1)本クラブに会長及び歴代会長をもって構成する諮問委員会を置く。
- (2)諮問委員会の委員長は会長が務め、任期は1年とする。
- (3)諮問委員会は、理事会の諮問に対し答申を行うものとする。
- (4)理事会は上記答申を尊重しなければならないが、必ずしも拘束されるものではない。

第7項 事務局の出張費等

事務局員がクラブ行事のため出張するときは、旅費等の実費をクラブが負担し支給する。

第8項 各種記念品または謝礼

- (1)クラブの依頼したゲストスピーカーに対しては、謝礼として記念品または金一封をお車代として贈る。
 - (イ) 記念品…………… 5,000円相当
 - (ロ) 金一封…………… 10,000円
 - (ハ) 特別の場合は理事会で決定するものとする。
- (2)直前会長及び直前幹事となった時点において次のものを贈る。
 - (イ) 直前会長にダイヤ入りバッヂ
 - (ロ) 直前幹事にルビー入りバッヂ

第9項 慶弔規定

(1)慶事の場合の祝い金等は次の区分とする。

- (イ) 会員及びその実子の結婚
クラブより…………… 20,000円
- (ロ) 会員実子誕生
クラブより…………… 20,000円
- (ハ) 会員の新規営業所・社屋・工場・店舗等の新築、開設
クラブより…………… 10,000円又は花輪かそれに代わる記念品
- (ニ) 会員の自宅新築
クラブより…………… 10,000円又はそれに代わる記念品
- (ホ) 会員が国の機関から功労表彰を受けたとき
クラブより…………… 記念品 (5,000円相当)
- (ヘ) その他理事会が必要と認めた時は適宜決定する

(2)弔事の場合の弔慰金は次の区分とし、会長は速やかに全会員に連絡するものとする。

- (イ) 会員死亡の場合
クラブより花環一基、弔電及び会員1人拠金10,000円
- (ロ) 会員の配偶者死亡の場合
クラブより花環一基、弔電及び会員1人拠金5,000円
- (ハ) 会員の第一親等血族死亡の場合
クラブより花環一基、弔電及び会員1人拠金2,000円
- (ニ) 会員同居一親等姻族死亡の場合
クラブより花環一基、弔電及び会員1人拠金1,000円
- (ホ) その他理事会が必要と認めたとき
クラブより花環または弔電

(3)傷病または被災の場合の見舞金は次の区分とする。

- (イ) 会員及び配偶者が傷病により1ヶ月以上欠席または入院のとき
クラブより…………… 10,000円
- (ロ) 火災等での被災のとき
自宅または事業所 クラブより…………… 30,000円
- (ハ) その他理事会が必要と認めたときは適宜決定する

- (4)退会者の扱いを含め上記以外で必要と思われるときは、その都度理事会において決定する。
- (5)上記慶弔見舞金などに対する返礼は一切行わないこととする。

第10項 表彰

本クラブは、理事会が必要と認めたときは、クラブに功績のあった会員に対し表彰できるものとする。

第11項 皆出席表彰規定

- (1)本クラブ入会后1年又はそれ以上の皆出席者には次の通り表彰を行う。
欠席した場合は該当例会月を除き、翌月より積算した年数によって行う。
- (2)出席表彰は次の年度毎に行う。
- 1年 スナップ止出席バッヂ (9K)
 - 3年 スナップ止出席バッヂ (14K)
 - 5年 金色ネクタイ止
 - 7年 カフスポタン
 - 10年 ダイヤ入り出席バッヂ
- 以後は5年毎とし、10,000円相当の記念品
- (3)上記記念品については出席委員会で検討し、理事会に諮り決定する。

第12項 内規の改廃

本内規の改廃は、定足数を満たす理事会の3分の2以上の賛成のもとに改廃することができる。

昭和53年8月10日	制定
昭和57年8月12日	一部改正
昭和61年5月8日	一部改正
昭和63年11月17日	一部改正
平成2年1月1日	一部改正
平成7年2月9日	一部改正
平成8年5月23日	一部改正
平成10年7月1日	一部改正
平成12年6月15日	一部改正
平成14年7月1日	一部改正
平成15年6月12日	一部改正
平成19年12月6日	一部改正